

南国暮らしの会

2017年 新年号



No.1704 北峰 康夫氏提供 インド エローラ石窟群



NPO法人 南国暮らしの会

平成29年1月12日

南国暮らしの会 (2017年 新年号) 目次

(敬称略)

新年のご挨拶	No. 434	大野 悦子	1
会員からの投稿 I			
KLでの4年半のロングステイ体験記	No. 1657	久保田清文	2
バリに魅せられて	No. 245	佐藤真理子	5
バリお試しステイに参加して	No. 1753	桜庭 発子	11
インドネシア・バリ島の旅	No. 544	吉田 成夫	12
フィリピン特別居住退職者ビザ(SRRV)取得奮闘記	No. 1693	犬飼 泉	15
北海道でロングステイ	No. 1593	前田 二郎	18
南国写真サロン			21
会員からの投稿 II			
北タイ・チェンセン	No. 1457	小野 耕一	23
ペナンで起業	No. 1284	高木 進	26
地球一周の船旅に参加して	No. 1739	榊原 正子	28
お役立ち情報			
ロングステイに役立つパソコン・タブレット・スマホ	No. 60	渡辺 義郎	31
日記のすすめ	No. 1521	花房 徹	37
支部便り			
東北支部便り	No. 1027	佐藤 周司	40
東北支部 28 年度セミナー参加報告書	No. 1445	渡邊 佑司	40
関東甲信越支部便り	No. 1607	阿部 滋敏	41
東海支部便り	No. 1544	森 幸太郎	44
関西支部便り	No. 173	平山 三雄	47
九州支部便り	No. 651	穴見 保彦	48
ペナン支部便り	No. 1630	菅野 純	49
クアラルンプール支部便り	No. 1682	守田 章	50
チェンマイ支部便り	No. 239	伊藤 寛	51
ダバオ支部便り	No. 1261	藤本 晴久	51
マニラ支部便り	No. 999	中山 恒夫	52
ハワイ支部便り	No. 1439	塩川 亨	53
部会伝言板			
総務部会	No. 996	歌田 晃一	54
広報部会	No. 1207	宮原 正宇	54
ネット部会	No. 1578	山本 雅巳	55
会員部会	No. 1388	寺田 光江	55
友好団体紹介コーナー			56
南国暮らしの会 支部一覧			56
編集後記			57
平成 29 年度会費納入のご案内			58

新年のご挨拶

南国暮らしの会 理事長 No.434 大野 悦子

新春を寿ぎ謹んでお慶びを申し上げます

会員の皆様、そしてご家族の皆様、お元気で良いお正月をお迎えのことと存じます。

昨年の4月に地震の被害に遭われた九州支部の熊本県周辺の会員の皆様には、落ち着かれてお過ごしでいらっしゃいますでしょうか？お元気になられて海外へロングステイに出掛けられてご活躍出来ますよう願っております。



昨年の5月末に関西で初めての「ロングステイ・フェア」が開催されるということで、関西支部役員の皆様のご協力を頂いて参加しましたところ、お陰様で6月～10月の間に関西地区の方が9名入会されました。支部役員の皆様のお力添えに感謝申し上げます。

また、北海道支部の方々のご協力で「北海道新聞」に「海外でのロングステイ情報」を寄稿して下さっていることで、北海道の新入会員も引き続き増加致しております。

「南国暮らしの会」は、会員の皆様がそれぞれお持ちの情報を交換しあって、共有しあって友達作りをし海外や国内でロングステイや旅行を楽しむことを目的にしております。情報を得ましたら、そのお返しとしてご自身がお持ちの情報を発信して頂くようお願い致します。

会が発足してから一貫して「受益者負担」（サロン会や同好会などの費用）、「自己責任」（不動産等の購入やこの指とまれ方式等の旅行）を徹底してまいりました。

今後とも会員の皆様のご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

最後になりますが会員の皆様のご健康とご幸福を願いまして、そして会の益々の発展を願いまして新年のご挨拶とさせていただきます。



KLでの4年半のロングステイ体験記

関東甲信越支部 No.1657 久保田 清文

●2012年5月からKLに住み始めて4年半になり2016年10月日本へ帰国しました。(2012/5~2016/10 KL在住)

振り返ってみればあっと言う間に過ぎていった様な気がします。良い事も悪い事も沢山ありました。これからKLでの生活を考えている方々の少しでもお役に立てればと思います。私達が経験した事を少し書きたいと思います。

●先ず初めにKLでMM2Hを取得して来馬する方が減っている事です。私達がKLに来た2012年がピークでした。3年帰国説・5年帰国説と言う人が多いですが、当たっていると思います。帰国の原因は健康問題や家庭の事情等色々ありますが、一番は飽きる事と人間関係の煩わしさだと思います。最初は物珍しいので日本人会のサークル等に積極的に参加されますが、慣れてくると日本人会のサークルから徐々に離れて行きプライベートで友人・知人の方々とゴルフ・テニス等を楽しんでいる方が多く見受けられます。そして昨年日本人会の会費の値上げも多少影響していると思います。(夫婦の場合月額RM70からRM100に値上げされました)

●参考までに2002年~2016年1月までにMM2H取得者国別ランキングは

1位：中国6961人

2位：日本3919人

3位：バングラデシュ3215人

以下英国・イラン・・・と続きます。そして10年連続ロングステイ移住希望国1位はマレーシアですが、これからは変わってくるかも知れません。やはり私も含めて団塊の世代が70歳台に近づきつつあり長期滞在は厳しくなるものと思われまます。

●KLも4年前に来た時より確実に物価が上がっています。今年からGST(消費税と同じ)が6%かかる様になりタクシー代や高速

料金や食事代等も確実に値上がりしています。値上がりしたと言っても日本に比べると物価は半分程度ではないでしょうか。2012年頃は日本の物価の3分の1程度だったと思います。ゴルフを週3回・外食週3回等すると年金だけでの生活は厳しいと思います。他の収入(預金利息・企業年金・アパートの家賃収入等)がある方は大丈夫だと思います。皆さん結構KLにお金を持って来て預金利息で生活費をカバーしている方が多いです。基本的にリタイアした人は税金がかかりませんので預金利息の税金や住民税も無税です。預金利息は多少下がっても3%台です。つい最近までは4%以上の利息がつかしました。無税なので私の場合でも家賃の2~3か月分は預金利息だけで支払う事が出来ました。KLで一番高いのはお酒ですね。特に焼酎は3倍以上の値段がしますので、KLに来られる時のお土産で喜ばれるのは何と言っても焼酎・ウイスキー等日本のお酒ですね。又、日本の食材等もKLで購入すると約2~3倍はしますので皆さん帰国した際は日本の食材やお菓子・お米・お酒等をトランクに目一杯詰めて来馬しています。

●又、私達の実感ですが、やはりマレーシアは一般的に食事が美味しくありません。中華系料理・マレー系料理が多く、油を使ったメニューが多いからです。KLはホーカーズ(屋台)が多く値段も安いですが、食器も含めて衛生的とは言えませんので私達はたまにしか利用しませんでした。但し、ちゃんとした「中華系レストラン」に行くと美味しい料理が手頃な値段で食べられます。そして、大概の中華系レストランはお酒持込み自由なので日本人はそういったお酒が気軽に飲める場所を探して食事会等をやっています。

●KLは今でもビル・コンドミニウムの建設ラッシュです。マレーシア人の所得が上がっ

ていると言っても購入出来る人はごく僅かだと思います。今まではチャイニーズやチャイニーズマレーシアの人が投資目的で購入していたようですが、銀行のローンの審査も厳しくなっているようで空室が目立っています。又、コンドミニアムはモールとセットになっている事が多く同じようなモールばかりが増えています。私達が現在住んでいるコンドミニアムもモールと一体です。モールは1年以上前から完成していますが、現在スーパーマーケットやレストラン等が一部オープンしたばかりです。全てのテナントが入居するのは何年かかるか分かりません。これがKLの今の実態です。いつバブルが弾けてもおかしく有りません。5～6年前に日本人の方が購入した物件は今売却してもまだ利益がある様ですが、その後に購入した方はわかりません。最近帰国のため自分のコンドミニアムを売りに出している方は大変苦戦して中々売れない様です。不動産は要注意ですね。



モール内のスーパー

●又、KLでの日本人の住んでいる場所が少しずつ変化しています。従来は下町のタマンデサやウエットマーケットが近いTTDIや駐在員が多く住んでいるモントキアラ等が人気でしたが、この頃は郊外の新築のコンドミニアムに移る人が多くなっています。タマンデサやTTDIのコンドミニアムは買物等便利ですが、建築後15～20年以上経過した物件が多いからです。その割に家賃は



コンドのプール

それ程下がっていません。モントキアラも便利ですが、インターナショナルスクールが近くに有り登校・下校の時間は大変道路が混雑します。日本と違って子供の学校への送迎は親が車で行うので無断駐車や二重駐車などマナー違反だらけです。ですから学校の近くは避けた方が無難です。

●最近日本人に人気の地区は「ブキジャリ」「クチャイラマ」です。2012年頃は余り人気が無かった地区でしたが、近くに駅が出来る予定があったため2～3年前からコンドミニアムの新築ラッシュが続いていた地区です。ここ1年位の間で完成し、新築で間取りも広く(約200㎡)家賃もモントキアラと変わらない事です。現在入居率が低いのでRM2600～RM3200程度の家賃で入居している方が多いです。

近くに値段が安い大型マーケットの「NSK」が有りますし、LRTの電車が近くを走るようになった事も要因の一端です。南の方なので空港やゴルフ場に行くのにも近いです。

●又、因みに私達が現在住んでいるダマンサラ地区は2016年度中に駅が出来る予定なのでとても人気があり現在10世帯以上の日本人が住んでいます。部屋の広さは約120㎡ですが2年前に入居した当初私達の家賃はRM2600でしたが、最近入居した方はRM3000と家賃は値上がり傾向です。

近くにダマンサラ病院やトロピカーナモールやアップタウン等も有りますし又、日本人

会へも車で15分程度です。ワンウタマのショッピングセンターまで車で10分程度なので日本食材を買いにイオン・伊勢丹へも時々行きます。又、日本食レストランの「COCO一番」やとんかつの「豆とん」・「ラーメン武蔵」等有ります。



住んでいたコンド



コンドからの眺望

やはり最近の傾向は二通りある様に感じます。第一にちょっと郊外でも新築で家賃もそれ程高くないと広くてゆったりとした生活をしたと考えている方が多くなっている事です。そう言う方は長期でKLの生活を希望している方々です。

第二に一年の半分しかKLに住まない方々です。一年の内半分しか住まないのも日本人会に近く又、ゴルフ場にも近くテニスコートが有れば良いと言う方々もいます。ですからコンドミニアムは古くても安く買物や外食が便利な場所を選んでいる人が多いです。

コンドミニアムを選ぶ時は、何を一番に優先するかで決めた方が良いでしょう。値段なのか、趣味なのか、広さなのか、車の有無

などかKLに住んでいるKL支部等の方に相談するのが一番良いと思います。

●又、私達が今まで過ごせたのはやはり趣味等で繋がった仲間達がいたからだだと思います。

最初はKL市内の「歩こう会」に参加して知人を増やしました。次に日本人会のサークル「村の音楽会」や「麻雀教室」へも参加しました。妻も初めての経験のため張り切ってビギナーの麻雀教室に参加していましたが、この頃は現役の時日本で麻雀をやっていた方が多くなり雀荘の様になってきているので辞めました。

最近是一年前に立ち上げた「カラオケ同好会」に毎週土曜日参加して3時間仲間と歌っています。認知症予防にも良いので毎週12~15名が参加してファミリーカラオケやYouTubeを利用しながら大声で歌っています。



日本人会のカラオケ大会

●プライベートでは、近くのゴルフ場で毎週3回9ホールのみラウンドしています。2回は妻と二人で1回は仲間達と賑やかにラウンドしていますが中々上手になれませんね。

妻もビギナーで始めましたが午前中に終わるので楽しくなってきたようです。初めてゴルフをやる方にはKLは最高だと思います。又、週一回テニスをしていましたが、膝を悪くして辞めました。現役中出来なかった事をKLではやりたい事に何でもチャレンジ出来ます。一年中常夏ですし、天候を気にせずスポーツが出来ます。

●そして、KLはアジア地区の中心地のためアジアのどこの国へも3時間以内で旅行に行

けます。エアアジアが各地に飛んでいるので、格安で旅行が出来ます。私達も2016年度の旅行先はマレーシア地区（ランカウイー・コタキナバル）・タイ（チェンマイ・プーケット）・ベトナム（ホーチミン・ダナン）・台湾等に行きました。バリ島・ハノイにも昨年行きました。孫達も4年半の間に5回もKLに遊びに来て色々な場所へ旅行に行き楽しい思い出となりました。又、今年8月一ヶ月間思い切ってチェンマイのサービスアパートを借りて住みました。南国暮らしの会の皆様方にはゴルフ・食事等で大変お世話になりました。チェンマイにはKLから近い事もあって数回短期旅行では行きましたが、今回が初めての長期滞在だったので貴重な体験が出来ました。この頃チェンマイ生活の快適さの噂がKL市内の日本人間で広がり、近い事もあり毎年KLからチェンマイに長期滞在される方や短期滞在中で行く方が増えています。理由は物

価が安く食事が美味しく、ビールが安いからだと思っています。今回の滞在中にKLから2組のゲストがチェンマイに来られましたが、大変満足して帰られました。これからのKLでの生活のヒントになる様な気がします。私達も徐々に年齢が上がっていきます。一か所に長期滞在するやり方もありますが、好きな時に好きな場所に行くやり方もある様に思うようになりました。これからもどんどんチャレンジして行きたいと思っています。そのためには、健康第一と誰とでも仲良くなれる社交性を身につけ、分からない事は現地の方に聞いて楽しく過ごす事ではないかと思っています。そして、夫婦であれば共通の趣味を（ゴルフ・テニス・麻雀・カラオケ等）持ち一緒に行動する事が一番大事だと感じています。そうすれば、具合が悪くなったり、困ったりした場合でも助けてくれますので妻は最高のパートナーだと実感しています。

バリに魅せられて

北海道支部 No.245 佐藤 真理子

私が、初めてバリ島に行ったのは1999年。以降バリ訪問は14回を数えますがきっかけは2冊の本を読んで興味が湧き、夫とツアーで行きました。一冊は「京都・バリ島・車椅子往来」の大村シゲさんが京都とバリを行ったり来たりしている時にバリ島で脳梗塞になり、その後日本に帰りましたが、バリ島のウブドと言う地区で、斎藤さん（現在はバリ島日本人会のウブド地区代表）という方のお世話になりながら車椅子生活をしていたと言うお話（車椅子でも生活が出来た）実際に斎藤様にお会いして当時大村さんが住んでいた住宅を拝見してきました。今でもそのホテルのレストランでは、美味しい日本食を食べることが出来ます。もう一冊は「魅せられてバリ島」の著者中田さんがバリで王宮の家をお借りした体験を

読んで、実際に当時のままの家を見学してきました。中田さんが最後に書かれていた、「美しい棚田」は何処だか解らず行くことが出来ませんでした。2013年にジャテルイの棚田（2012年ユネスコの世界遺産）に行った棚田ではと思いました。

2000年長女と行った時には「クタ地区」のホテルに泊まり、食事もお店の店で食べました。安さとその美味しさに、驚きました。

札幌でネットで知り合ったバリ好きのお友達から（今もお付き合いが続いています）「バリに行くのならツアーでは無く一人で行かなくては本当のバリが解らないよ」と言われて、2001年9月に初めて自分で飛行機のチケットの予約と最初の3泊のホテルの予約だけをして3週間の一人旅に挑戦しました。

後半の宿泊は現地に行って、やはりネット

で知り合ったバリに住宅建築中の Y さんに日本人がオーナーのホテル「カキアンバンガロー」を紹介していただきました。殆どのスタッフが日本語を話すことが出来るので初めての人にもお勧めです。隣接のレストランではパンやケーキがとても美味しいのです。

●2001年9月11日同時多発テロがおきた日。当時はホテルにテレビが無いバリ島。インターネットもネットカフェに行かなければ見ることが出来ませんでした。電話も公衆電話みたいところから電話する。国際電話は出来ません。

ネットカフェで日本人の若い娘さんからアメリカの話を書きましたが、映像が無いバリ島、何がおこったのか詳しいこともわからず、過ごしていましたが日本に帰ってきて驚きました。

その時はアメリカの飛行機でバリ島に来たので、数日は飛行機も飛びませんでした。無事帰れるか心配でしたが、荷物検査は厳しかったけれど、私の10キロ以上も重量オーバーだった荷物は追加料金も無く帰って来れました。

●私のバリ旅行で一番印象深いのは2003年の一ヶ月間、一人でバリ島に行った時です。飛行機は自分でネットで予約。当時はホテルの手配、バリ島からの個人ツアーの手配等は現地（サヌール地区）に早期リタイヤして滞在中のご夫婦の方に現地に行ってからお願いしました。

女性一人旅と言う事でホテルはセキュリティがしっかりしているところ。個人ツアーの現地通訳には女性を手配していただき、安心して楽しんで旅行する事が出来ました。

バリのサヌール地区の安いホテル「プリサディング ホテル」（当時30ドル今は倍の価格になってます。）を拠点に、ジョグジャカルタや隣のロンボク島に行ったりする事が出来ました。

片道3時間かかるヌガラ地区のジュゴグ演

奏は子供・青年・熟年の3チームで構成されています。オープニングは子供達のチームの演奏で始まります。子供達だってなかなか上手ですよ！すると突然後ろの方で大人たちの演奏が始まってビックリと言うよりも、一瞬何が起きたの？鳥肌がたつほどの迫力です！あ～これが本物のヌガラジュゴグなんだと大感激しました。

演奏がしばらく続いて、皆楽器の下にもぐって聴いたり写真を撮ったり、自由に動き回っていました。中休みがあってジュゴグの説明と実際に音の出し方を練習して次は本物のジュゴグの前で参加者全員が左と右のチームに分かれて演奏しました。手が痛くなったけど、とても楽しかったです！！

夜7時に始まって9時頃に終わり、帰りは真っ暗な中を帰ります。ホテルに着いたのは夜中の12時過ぎでした。本場のジュゴグ演奏は、遠いですが行く価値は十分にあります。

ジョグジャカルタでは世界遺産のボロブドゥール寺院とプランバナン寺院を見て来ました。

ボロブドゥール寺院は824年に建造されたものと言われています。建造後1000年以上も密林の中で火山灰に隠れ眠り、歴史的価値は明らかでもいまだに神秘のベールに包まれ、多くの謎が残るミステリアスな遺跡だそうです。ムラピ山の噴火で埋もれていたと言う説と完成と同時に埋められたと言う説があると聞きました。1814年に土中より掘り起こされ、修復作業が行われた。

上まで登れるか心配でしたが、上りよりも降りの方が怖かったです。

プランバナン寺院は9世紀に仏教的要素を含んだ寺院として建築されたものです。

ロンボク島（バリ島から東に50キロのバリの半分の島）に行った時には、「地球の歩き方」に書いてあった「Nominasi」と言う旅行代理店を探して値段の交渉をしました。日本語も英語も通じずカタコトのインドネシ



ボロブドゥール寺院

ア語でどうにか交渉成立。ロンボクから小さな船で、片道1時間のギリ3島でシュノーケルを体験しました。ギリの海はとても美しかったです。

●滞在中には何回か病気にもなりました。軽い風邪や蚊に刺されて腫れがひどい時なども現地では「 Dengue 熱」と言うのが心配ですから病院に行きました。長期でいるとお腹の調子も悪くなる時などは、バリのお料理で「ブブールアヤム」と言う日本のおかゆ料理があります。スタッフに言うとブブール（塩味のお粥）だけにしてもらい色んな薬味を省いてもらいました。

●一番印象に残っている病気は、初めて3週間の一人旅をした時に、大きなレストランで食事後身体に発疹と心臓がドキドキしてきたので急いで宿泊先に戻り、オーナーの方の携帯電話をお借りしてネットで知り合ったお友達に連絡して夜遅いにもかかわらず、ウブドの小さな診療所に連れて行ってもらいました。ウブドは田舎ですから医師もインドネシア語しか話せません。通訳をして頂いたのがお友達のドライバーさん。血管注射と飲み薬で次の日には症状も良くなりましたが、朝には医師が再度診察に来てくださいました。支払いはカードに着いている旅行保険が使えました。これが私の初めての海外での病気でした。

その時のドライバーさんには今でもバリに行くたびにお世話になっています。現在は可愛い二人の女の子のパパさんです。私にとっては孫みたいな可愛い子供たちに会いに行くのが楽しみになりました。

●2013年（11回目）のバリ島では、前年に体験したダイビングショップの対応がとても良かったので、ダイビングの資格（オープンウォーター）に挑戦しました。

学科は日本に居るあいだにインターネットで勉強。難しく解らないところは現地でショップの日本人女性（札幌出身）に教えてもらいました。



ブルーラグーンでダイビング

2015年（12回目）は夕日が美しいクタ地区のホテルに旅の終わりに2泊してみました。今までクタ地区は若者の町とのイメージがあったので敬遠していましたが、昔とは変わっていて、海岸での物売りも少なくなり、海岸でのマナーがとても良くなっていました。また大きなショッピングモールが数件出来て、とても楽しい町に変わっていました。帰りの飛行場までも近いので夜遅くのフライトにはとても便利だと思いました。

●よく「バリ島で何をしてるの?」と聞かれます。

一人で行った時は殆ど観光はせず、ガムラン演奏を習ったり、美術館を見学したり、バリ舞踊を見たり、陶芸（ビンタンバリビレッ

ジで日本人の方が教えています)を習ったり、バリ料理の教室に通ったり、バティックを習ったり、体験ダイビングやシュノーケルをしました。後は何もせずにはぼーっとライステラスを眺めたり、現地に住んでいる日本人のお友達とおしゃべりです。最初の頃一番よく通ったのが「バティック作り」です。

先生からの紹介でトパティ地区の大きなお店に数日通いました。宿泊のホテルでランチボックスを造ってもらい、タクシーで通っていました。

9時から夕方4時ころまで。言葉がインドネシア語しか通じないので本を片手に後は手振り身振りで・・・。

それとは別に、バリ在住のお友達がご自分でバティックを作っている工房に通って習った事もあります。お友達は、一昨年から年に一度「札幌資料館」で個展を開いています。

ウブドに滞在中に「影武者」と言う日本料理のお店のオーナー（日本人女性）の方からお店では出していない、ご自分の家庭で食べている「バリ料理」を教えてくださいました。3時間立ちっぱなしですべて手作りのお料理5種類を作りました。白いご飯の周りに5種類の料理を並べて「ナシチャンプル」の出来上がり (^_^) ととても美味しかったです。



3時間かかったバリの家庭料理

最初は一人旅でしたが、何回か行く内に「南国の会」の女性やご夫婦の方から一緒に行きたいと言われ、数回は「初めてのバリ島」の人達の案内をしました。去年は会の人7名と

私のプールのお友達4名（最高齢86才）でマイクロバスでのツアーを企画してバリ島を楽しんで頂きました。一人とは違った楽しさもありました。

●夫がリタイヤしてからは夫婦でバリ島に行くようになりました。ただ、夫は8日間くらい滞在して先に帰ります。夫はサヌール地区の海岸沿いのホテルがお気に入りです。特に「プラマサヌールビーチホテル」は必ず最初の宿泊先と決めてます。昔次女と一緒に宿泊した時には1部屋50ドルだったのが最近は何倍以上に値上がり。バリの物価は他のアジア圏同様に何でも値上がりしています。昔が安かったのでしょうか。



サヌールの海岸沿いの道には津波の時の看板が

夫はホテルのプールで泳いで、そのまま海岸沿いで「マッサージおばさん」にマッサージしてもらうのが日本で味わうことが出来ない至福の時間だと言ってます。

お値段も一時間10ドルとお安いですし。街中のマッサージ屋さんでは大体40ドルくらいします。

夫が先に帰った後はウブドのお友達の家に数日滞在して、ドライバーデワ君の奥さんの美味しいお料理を食べて、可愛い二人の娘たちに私は癒されます。今では「バリの孫たち」と思っています。そこからお友達と、二人で今までに行った事の無いところにミニ旅行に行ったりしています。

去年は、13年ぶりにロンボク島に行って

来ました。飛行場が国際飛行場に代わっていて観光客が多いのには驚きました。ギリ3島での美しい海でのシュノーケルを楽しみにしてましたがお天気があまり良くなかったので、島内観光をしてきました。



ロンボク島でお友達の織物体験

【クタ、レギャン、スミニャック】若者が多い、とてもお洒落なお店が多い地区【サヌール】ツアーの旅行ではこの地区のホテルの宿泊と言うのはありません。ヨーロッパやオーストラリア人が多く特に海岸沿いのホテルはシニアの観光客の長期滞在者が多いです。私はこのサヌール地区のホテルが便利で大好きです。

【ウブド】山の中の特にバリらしい儀式が多い地区。日中は観光客が多いが夜になると静かでお店も早くクローズします。お友達が住んでいるので必ず行きます。ヌサドゥアは、リゾート地区として囲まれた地区に大きなホテルが多いです。

●初めてのニュピ体験

一昨年のバリは初めて雨期の時期の3月に行きました。3月21日はバリ島のニュピと言う日本で言うならばお正月、元旦です。その日は電気・火（炊事などの）は一切使用できません。働くことも、外出も禁止、道路は車も走れません。飛行機もすべて飛びません。私は友達の家で体験しました。

小さなローソクの明かりで夕食を早めに食べたあと、外を見上げると満天の星空が美し

く、星空の下の田んぼでは蛍がいっぱい!!慌ててカメラのレンズを付け替えて写真を撮そうとしましたが、暗闇の中レンズ交換が上手に出来なくて結果写真を撮ることが出来なかった事がとても残念でした。真っ暗なお部屋の中、その日は8時頃には寝てしまいました。

話は戻り、ニュピの前日は「オゴオゴ」と言う小さな村単位で大きな怪物の張りぼてを作り、ウブドでは「サッカー場広場」に集結し、王宮まで練り歩き、観客の前でパフォーマンスを披露します。

可愛い子供たちのグループがとても印象的でした。



ニュピ 子供たちのオゴオゴ

●バリで家を借りて住む

私は何時もホテルか、お友達の家での滞在です。

でも何時かは長期滞在で「バリに住んでみたい」と思っていますが、老いた母の事とか家族や色々な諸事情で簡単には実行できませんが、その時の為に情報を得ています。

ウブドに家を建てて住んでいるお友達の陶芸仲間のお宅を拝見してきました。

お一人は独身の女性の方60代。

東京から2008年に「年金で生活出来る所」と言う事で10件くらいの住宅を見て回り、高い・遠いとかなかなか見つかりませんでしたが、一ヶ月間で見つけたのが「デルタデワタ」と言うスーパーからも近くご自分の好みに合い、大家さんが王族と言う安心感で決めたそうです。とても素敵なお家でした。

そのお隣には、(やはり大家さんは王族) 70代と80代のご夫婦の方が10年近くも住んでいました。

ご主人は今でも車を運転して、週3回はテニスに。ドライブ、ヨガ、インドネシア語の勉強ととても活発に行動してらっしゃいました。

お家賃は4万円位とお聞きました。お庭のお手入れや、お部屋のお掃除など時々お手伝いをお願いして、食事も1/3は外食、数年前まではご夫婦二人で15万円あれば生活できたけど、最近ではバリの物価も上がり20万円くらいかかるかもとお話していました。

それでも年金で十分生活でき、充実した生活が出来ると話していました。

●何故、バリ島が好きなのか?

バリ島は「バリヒンズウ教」という独自の宗教です。生活の中に色々な神様がいます。とても信仰心が強い人々なので、毎日の生活が神様へのお供えと祈りから始まります。信仰心が強い人々に悪い人はいない、その様に感じられます。

暗い夜道を一人で歩いていても、怖いと感じることが無いのは安心な国だからだと思います。

日本人のお友達が数名バリに住んでいるから。

日本にいるときには出来ない、のんびりと過ごす時間が何よりです。

2016年は6月と11月(14回目)、2度バリ島に行くことが出来ました。2度目は夫婦水入らずで何時ものホテルで何時ものレストランで音楽を聴きながら・・・のんびりと過ごしてきました。

●サヌールのレストランを

バリ島も他のアジアの国々と同じで和食のレストラン、洋食、イタリアン・中華・インド料理と色々な国の料理が食べれます。私が特に行く和食のお店は、「漁師」です、クチャウブドなどにも有り日本語メニューも有るので安心です。

他にも和食のお店は有ります。

一昨年は前から気になっていた、「サヌール市場」が夕方終わってから駐車場が現地の料理の屋台になるので初めて行ってみました。安くて美味しかったです。昨年は会の方達と最初の夜の集まりに一度も行った事のない、現地の料理が食べれる「パラヒャガン」に行ったとき「ビールは有りません、近くのスーパーで買ってきてください」と言われ戸惑いながらお店の人の運転するバイクに乗って買いに行きましたが、後から分かったのが丁度ラマダンの時期だったのでお店ではビールを販売することが出来なかったのです。

一昨年から良く行くお店がバンド演奏を聴くことが出来、お料理も色々ある PARROT です。日本人と分かると、日本の歌を歌ってくれます。



サヌールホテル



サヌール市場の屋台

バリお試しステイに参加して

北海道支部 No.1753 桜庭 発子

昨年6月20日から30日まで北海道支部のバリ島ステイを楽しんで来ました。毎年のように滞在していてバリに詳しい支部会員の佐藤真理子さんから情報をいただき、又佐藤さんの現地の知人に案内と運転をお願いして、8名で行動しました。おかげで初めての場所でしたが不安なくステイ出来ました。別々のホテルに別れて滞在していましたが、お互いの連絡はLINEのグループ機能を使ってスムーズにできました。

●6/20～6/23

スイスベルリゾートホテル 4泊

現地に着いた次の朝、まず行ったのが両替所で、とりあえず必要な分だけ(2万円)ルピアに替えました。街のあちこちに両替所があり、場所によってレートにかなり差がありましたが安全な公認の両替所に行きました。22日はウルワツ寺院へ行き、美しい夕日が沈むころに始まるケチャダンスを鑑賞しました。夕食はジンバランの海岸でイカンバカール(魚介の炭焼き料理)をいただきました。数種類のソースがついてきてワイルドな味でした。23日はトウガラランの棚田やパワースポットのティルタウンブル寺院や美術館を巡りました。スイカジュースが美味しく、お昼に入ったレストランの味もそんなに辛くなく、全体的にバリの食事は日本人の口に合う感じでした。

●6/24～6/26

プラマサヌールビーチホテル 3泊

ホテルを移り、レンボガン島・日帰りクルージング(大人Rp.1,410,000)へ9:15出発。ホテルまで送迎してくれ、往復の船代、いろいろなアクティビティとランチ込みの料金です。シュノーケリングやバナナボートなどの体験はワクワクしました。パラグライダーに挑戦した人2名いました。25日はバリサファリへ行き、珍しい動

物を車の中から見たり、エレファントショーを楽しみました。(大人Rp.797,500)

●6/27～6/30

クタバラディンホテル 3泊

ここからはジョグジャカルタやウブド、クタとめいめい行きたい場所にわかれしました。私は一人でクタにステイしました。バリは今乾季のはずなのに、この日から3日間雨が続ききました。でも寒くないので、車を半日チャーター(Rp.500,000)して傘をさしながらタマンアユン寺院とタナロット寺院を巡りました。タマンアユン寺院では現地の小学生のグループにインタビューされ、どこから来たか、名前は、趣味はとか聞かれました。(先生が英語で通訳)一緒に写真も撮りスターになった気分でした。次の日も雨で、プールサイドでゆっくりしたかったのですが無理でした。それでホテルにあるツアーカウンターでスパを予約してもらいました。ガイドブックに載っていたWARM STONE MASSAGEを体験してみたかったです。ホテルまで送迎付きです。丸くて平べったい温かい石で全身マッサージしてくれて、その後、背中、首、手、足に石を置いてくれます。体が芯から温まり、とても気持ち良かったです。(2時間\$65.-)最後に帰る日にやっと晴れて、ショッピングモールを見たり、ビーチを歩いたりして飛行場へ行くまでの時間をつぶしました。クラクラバスと言って、JCBカードを見せると無料で乗れる循環バスがあり、丁度ホテルの前で止まり、便利でした。

●治安の心配もそれほどなく、日中は一人で歩いても平気でした。ホテル代もそんなに高くなく、食事も安く食べられるので、次回はもっと長くステイしたいと思います。

インドネシア・バリ島の旅

北海道支部 No.544 吉田 成夫

インドネシア・バリ島の旅

夫婦二人、ジャワ島(2泊)とバリ島で、平成28年6月15日から7月16日の31泊、大韓航空利用

6月 15日	水	日本	旭川発バス 7:30 ~ 9:50 札幌着 2時間20分
			札幌発JR 10:35 ~ 11:12 新千歳着
		韓国	新千歳発 14:15 ~ 17:10 ソウル着 2時間55分
16日	木	バリ島	15日ソウル発 18:10 ~ 0:10 16日デンパ着 7時間
16日 5泊	木	クタ	Balitainn Hotel 1泊、3196円
			空港着零時10分、 タクシー(800円) でホテル着午前1時半、Beach 散歩
17日	金		周辺散歩(スーパー、バス停確認)
18日	土		beach (サーファで賑わう) 散歩、ショッピングセンター(beach walk)で食事
19日	日		くらくらバス で、 デスカバリー(クタの高級品shopping center) 周辺散歩
20日	月		くらくらバス(2017年8月31日まで無料) で、 スミニヤックスクエアとDFS(くらくらバスセンター、ショッピングセンターを併設) 見学
21日 8泊	火		8時に タクシー(140k=140×8=1120円) でグスタフバリホテルに向かう。
		サヌール	Gustavbali Bed and Breakfast 1泊、2000円
			お昼ごろ、ハーデーズで必需品の買い物して、ランチ。 サヌールビーチホテルのビーチ、longstay house を見学、 夜:南の会食事会 ★21日から25日までは、8人グループで行動する。
22日	水		午後から、 ウルワツ(ケチャダンス) 、ジンパランで夕食
23日	木		朝9時:ウブド方面観光 テイルタ・ウンブル寺院(沐浴)、テガララン棚田 プリ・ルキサン美術館見学 ★道路が混雑、予定を変更した
24日	金		朝8時・ホテルロビー集合: バリハイクルーズ で レンボオンガン島観光 スノーケリング、バナナボート、船艇から魚観賞、島の中で、村めぐり。
25日	土		9時頃:ザファリパーク 、車に乗って園内観光、動物と写真撮影
26日	日		ホテル周辺散歩(徒歩3分のところに、大きなスーパーある)
27日	月		サヌールビーチ散歩(穏やかな海、水泳に最適、管理されたきれいな砂浜)
28日	火		サヌールビーチ散歩
29日 1泊	水		タクシー(200k)でホテル発、朝5時→デンパ空港着5:30、デンパ空港発 7:20→ジョグの空港着7:30、市内バス3A(30円)でウイズホテルに行く。 朝食後1Aで プナン・バナナ遺跡見学(18ドル×2, カード払い3722円)
		ジョク ジャカルタ	Whiz Hotel Yogyakarta 1泊、3040円
30日 1泊	木		朝9時半市内バスでJombor Terminal→Borobudur行の地域バスに乗車。 ホテルまでの料金一人350円。ホテル着13時、 ボルブドール遺跡見学 。 ★マノハラホテルは、遺跡内にあり入場料を含む料金なので割安で便利
		ボロブドール	Manohara Resort 1泊、8800円(遺跡入場料15ドル×2を含む)
7月 1日 14泊	金		朝食後、遺跡見学。ホテルのタクシー(料金2800円)で10時にホテルを出発 1時間15分で空港に着く。ジョグの空港発14:25→デンパ空港着16:40、 空港タクシー(350k) でデンパ空港発17時→ウブドのホテル着19時。 ★注意:ターミナルがエアアジアと、ガルーダ航空のターミナルは別。 降ろされたターミナルが異なった。利用する 航空会社を伝えること必要。
		ウブド	Nyoman Home Stay 1泊、1600円

2日	土	友と再会、 monkey forest見学 、Café Fomegaranate(田の中のレストラン)						
3日	日	散策コース(今も残る田舎、小さなお店、スーパー「デルタデワタ」)						
4日	月	ウブドの朝市、王宮舞踊(朝市も王宮もホテルから5分)						
5日	火	ネカ美術館見学						
6日	水	デルタデワタで買い物(カード使用では、2%の割増料金かった)						
7日	木	アルマ美術館見学						
8日	金	散策コース(アヒルが水浴びする農道、自転車利用不可、徒歩3時間)						
9日	土	ブランコ美術館見学(熱帯の鳥、 インコとおおはしに触れた)						
10日	日	Kintamani-Bangli Tourツアーに参加(1人1360円)(参加者6人) 9時に出発し6時間観光してキンタマニー高原、王家の谷(墓)、像の洞窟など 昼抜きで6か所観光する。ホテルで紹介されたツアー。						
11日	月	ホテル周辺散策						
12日 2泊	火	ウブドから空港までシャトルバス(二人で120k=120×8=960円)、安い、 空港からジンバランホテルまでタクシー(70k)						
		ジンバラン	Bali Breezz Hotel 1泊、5068円(空港から近い)					
13日	水	海岸線散策(小さな船から網で漁獲中。サンゴの欠片で出来た綺麗な浜)						
14日	木	12時から午後9時まで、部屋の使用を延長(料金1600円) 夜9時には、タクシー(ホテルに頼み料金70k)で空港に着く。						
15日	金	デンパ空港発1:25分ーソウル着9:25、ソウルで9時間15分の待機。 千歳行飛行機は1時間遅れで出発し、千歳には、15分遅れで到着した。						
7月 15日	金	インドネシア	デンパ発	1:25	～	9:25	ソウル着	7時間
		韓国	ソウル発	18:40	～	21:20	新千歳着	2時間40分
16日	土	日本	新千歳発	22:05	～	22:45	札幌着	
			中央バス発	10:00	～	12:25	旭川着	

備考

(1)宿泊費:クタ15980円、サヌ16000円、ジョグ3040円、ボロブ8900円、ウブド17600円、
ジンバラン(10136円+1600円)、札幌6600円

★旅行用具、常に電気鍋を持参。水道水を沸かして水分補給などに利用。

★ホテルの選択:クタのホテルは地球の歩き方、その他はbooking comを利用



7月9日 ブランコ美術館にて



(2)交通費(往復): 旭川と千歳11080円、千歳とバリ(大韓航空)120100円

(3)その他: 観光費、食費、通信費(16990円)、旅行保険(二人で16080円)、お土産等
残金20万ルピア(1600円)を含め、経費の総合計 **398.264円**

(4)ビザ免除: インドネシア滞在日数30日以内はビザ必要ない。6月16日~7月15日は、滞在日数30日
30日を超えると次の30日間はビザを取ると滞在できる。ビザ申請費は、Rp300k=300×8=2400円(一人当たり)

★円換算例、1円=125ルピア(8円=1000ルピア=Rp1kと表示) 例: 寿司Rp60k= 60×8=480円

(5) **無料クラクラバス (9:30-21:30)** : クタのショッピングセンター(**beach walk**)から乗車
(JCBカード持参者限定、クタ、レギャン、スミニャックのみ無料) 2017年8月31日までが無料期間

★**現金とカード**: 日本円を現地で交換する場合と、カードで現地ATMで下す場合とでは、
レートは大体同じ(1円=125ルピア)。ただし、6月16日~7月15日間のレートです。

高いレートの[詐欺changer]に注意。店の奥の方でダマシに会う客。結局損してしまう。

★**カード**: 現地の暗証番号は、**6桁だから**、日本での**4桁の暗証番号は使えないことがある**。

ただし、カードの裏にある、**cirrus、PLUS**を扱っている機械なら、日本での4桁の番号

が使える。ATMは、銀行内の機械を利用するのがお勧め。安全で手数料が安い。

クタのBeach Walkの地下、サヌールのHardysの入り口のATMも安全だった。

★**一括支払い通知**: カードを使用した場合は、帰国後すぐにカード会社に全額
支払いすることを連絡し、リボ払いで高額な金利15%が付くのを防ぐ必要がある。

列車の乗り換え

7月 12日(月)	④ Prague	Salzburg 10:02 ~ 11:07 Linz 11:12~ 13:51: Cesky Bude
		Cesky Bude 14:04 ~ 16:40 Praha 列車で6時間38分
	* 指定券(6枚)を注文します。	
	Salzburg 10:02 railjet-RJ663	
	Linz Donau Hbf (platform-7AC) 11:07 ウイーン行き	
	Linz Donau Hbf (platform-3AB) 11:12 REXrex1932	
Ceske Budejovice 13:51 終点		
Ceske Budejovice 14:04 RR R648		
Praha 16:40 終点		
7月 30日(金)	⑥ Budapest	Cesky Krumlov 6:03-6:56 Cesky Budejovice 7:04-9:40 Praha
		Praha 11:39 ~ 18:32 Budapest Keleti
	Ceske Krumlov 6:03 Os 8140	
	Ceske Budejovice 6:56	
	Ceske Budejovice 7:04 R640	
	Praha hl,n 9:40	
Praha hl,n 11:39 171 Hungaria		
Budapest-Keleti pu 18:32 直通		
8月 8日(日)	⑦ Vienna	Budapest Keleti 11:10~14:08 Vienna 西
		列車で 2時間58分 * 乗車券と指定券(各2枚)を注文します

フィリピン特別居住退職者ビザ(SRRV)取得奮闘記

マニラ支部 No.1693 犬飼 泉

●私はいわゆるツーリストビザの延長延長でフィリピンに滞在してきました。ツーリストビザはいわゆるビザなし入国のことで、入国日の翌日から30日間滞在できます。一般的なフィリピン旅行ですと30日もあれば十分でしょう。

ただ、1か月以上のロングステイや本格的なフィリピン移住をする場合はちょっと面倒です。30日経つとその後はいったん海外に出るか（振出しに戻りまた入国から30日が始まります）、イミグレーションに行って3130ペソを払って29日の延長手続きをするか、を選ばなければなりません。フィリピンの場合延長延長で3年間まで、海外どこに行かなくても（日本へすら帰らない）合法的に滞在することができます。私の場合、1か月ごとに、日本へ帰国するか、近隣の外国へ旅行するか、イミグレでのビザ延長をするかをカレンダーをにらみながら行ってきました。ちょっと日付を間違えると無駄な出費になってしまいます。

●この地に永住をと考え始めた現在、世界各国のなかでもっとも永住権が簡単に取れるというふれこみのフィリピンの退職者ビザ(SRRV)の取得に挑戦し、ようやくパスポートにビザのスタンプをもらうことができました。

実際にマニラで申し込みをしたのですが、結構手間がかかりました。またパンフレットに記載されている以上のことを要求されたり（規則はしょっちゅうかわりますので）書類不十分で何度も足を運ばなければならなかったりしました。

●このビザの取得を決意してまず行くところはパサイの日本大使館（領事部）とビザ取得の窓口となるPRA（フィリピン退職庁）の事務所です。日本大使館では無犯罪証明なる

ものを取得（まあヤクザなどが来てもらったらかまるからでしょう）しますが、そこで大使館からまずフィリピンの警察へ行くように指示されます。その足でマニラの場合ケソンのSANTLANにある警察本部へ向かいます。そこで多くの指紋を押しフィリピンでの無犯罪証明らしきものをもらいます。

また大使館に戻り、日本の警察庁での無犯罪証明の取得を依頼します。それには費用はかかりません。2-3か月かかりその後、到着したかどうか調べるので連絡をくれといわれます。向こうからは連絡をくれません。不親切です。メールくらいくれてもいいのに。

●その日次に行うのことはPRAのオフィスで日本から送金する預託金の受け取り先の銀行を紹介してもらうことです。私はBDOという銀行を指名し、その支店へ行き私の名前の仮の口座の番号をもらいました。この日本大使館、フィリピン警察、日本大使館、PRAオフィス、銀行は朝早くから行動して、うまくいけば1日で終わることができるでしょう。

●次に預託金を日本から送金します。通常は日本へ帰国して、先のフィリピンの銀行の支店の自分あての口座に指定の金額を振り込みます。預託金の額はそのプログラムによって変わってきます。私の場合SRRVクラシックで50歳以上年金ありで1万ドルでした。一番金額は低いのですが、あとで述べるように年金の証明で手間を取りました。フィリピンに戻ったら、送金先の銀行へいき、確かに入金されていることを確認し、その証明をもらいます。

●あとは、2か月くらい先の話です。無犯罪証明が日本から着くのを待ちます。私の場合は2か月後に大使館を訪ねたら、来ているとのこと、実際は1か月強で着いたようです。

しかし、この日本語で書かれた警察証明では、フィリピン人はさっぱりわかりませんから、大使館でこれが本物であるという英語の認証を受けます。証明の取得は無料でもこの認証は有料です。

でも、これでは終わりません。フィリピン人が日本の大使館の認証がたとえ英語であっても本物のサインかどうかわかるわけもないのです。その足でFDA（フィリピン外務省）の分局へ行きレッドリボンと呼ばれるさらなる認証を受けます。フィリピン人が信頼するのは自国の役所での証明だけなのです。大使館からその足でFDAの分局へ向かいます。残念ながらレッドリボンは当日にはもらえません。早くて翌日。通常だと4営業日後にできあがります。スピードが速いほど料金は高くなります。大使館は1日で終わりますが、FDAはその日のうちに仕上がらないので、どんな場合でももう1日行く必要があります。

●レッドリボン、よくそんな面倒なこと、といわれますが、その逆のことを考えてみたら納得がいくでしょう。アラビア語でかかれた公式書類を見せられても日本人は本物と分かりません。たとえその国の大使館がこれは本物だよと英語でサインしてあっても、我々はこれを本物の大使館のサインとどうして信じることができるでしょうか。やはりこの場合は日本のしかるべきお役所での、このサインは本物であるという証明が必要でしょう。つまり日本の役所の真偽の確認がないと外国の怪しげな？公文書を信ずることはできないのです。フィリピンでも同じことです。

●レッドリボン証明もとりました。そこでまたPRAへ行き必要書類をもらいに行きます。そこで今度は「イミグレーションで不法滞在をしたことのない証明」をとるように指示されます。このイミグレーションは私の場合、近くのマカティの支所ではなく、イントラムロスの本局へ行かねばなりません。1時間を2回待ち、その証明をとることができま

した。これも1日仕事です。

●PRAへ翌日もどり、記入済の必要書類をチェックしてもらいます。

- 1 きのうちもらった申請書（記入済）
- 2 レッドリボンが一番上にある無犯罪証明書
- 3 銀行の預託金受領証明書
- 4 イミグレーションの不法滞在をしたことのない証明書

これらのコピーがすべて必要ですが、し忘れました。また出直してきます。

●翌日、上記の書類に加えパスポート、12枚（2インチ2インチ）の写真、そして申込金1,400ドルプラス1年分の会費前払い360ドル合計1,760ドル相当のペソのキャッシュです。指定された場所で支払います。この段階でパスポートを預けます。数週間は出国できません。そして指定のクリニックへ行くよう言われます。ついに最終ステージメディカルチェックです。すぐタクシーで向かいます。チェックはいたって簡単。尿、採血、レントゲンです。

結果も告げられず、しかも完全な申し込みをした後なので、単なる形式的なもののようなのです。

●やっと終わりました。パスポートを預けてからちょうど1か月後にPRAを訪ねて最終的にビザの入ったパスポートとSRRVの身分証明書カードが取得できました。私の場合、最初にPRAの事務所訪ねてからおおよそ3か月かかりました。



●基本的に私は一人で動き回りました。「大変だったでしょう」といわれますが、しょせん退職後にシルバー生活を好き好んでこの地で送っている暇人。けっこう時間がつぶせて楽しかったです。マニラ市内の観光もできま

した。やはりこの国は効率悪いなあ、と改めて認識したところも数多くあります。

● 代行業者も数多くいますので、忙しい方(そんなひとはこのビザをとらないでしょうけど)、言葉に不安のある方はお金を払って、依頼されるのもいいかもしれません。完全に代理人として行動して本人は行く必要がない場合、本人が必ず行かなければならず(指紋をとるときなど) そのつきそい(通訳)として行動してくれる場合があると思います。

● なお、わたしの場合、預託金が少なくて済む「年金あり」を選びましたので、上記以外に必要なものがありました。年金額の記載された支払通知書です。単身の場合、月800ドル以上の年金を支給されていれば預託金が最低の1万ドルですみます。

ただそのために

- 1 支払通知書の英文訳(私は自分で訳しました)
- 2 その翻訳が正しいという日本大使館の英語の証明
- 3 例によって日本大使館の翻訳証明が本物であるというフィリピン政府のレッドリボン

このため大使館へ2回(翌日仕上がり) D F Aへ2回(4日後仕上がり) 上記のスケジュールより余分に行くことになりました。前述の手続きといっしょにできればよかったです。準備不足でした。

● 結局、マニラで行ったところは、

1. P R Aの事務所(マカティのC I T I B A N K T O W E Rにあります)
2. 日本大使館(パサイのロハス大通りにあります)
3. P R A指定銀行(私の場合B D Oのパシフィックスター支店)
4. フィリピン警察本部(ケソンのセントラン)
5. フィリピン外務省(D F A)の領事部(パラニャーケでM O Aの近く)

6. イミグレーション本部(マニラ市のイントレムロス)

● 日本で行ったところは

1. 上記3の銀行に送金するための自分の利用している銀行

● セブなどでの地方で申請してもその流れは同じだと思います。ただフィリピン警察本部や、イミグレーションの本部はもちろんありませんので、日本大使館(領事部)やP R Aオフィスなどで事前に十分確認してから行動してください。またすべてマニラを通しますので、地方ですと、時間が余分にかかる可能性があります。

● S R R Vを取得してから、最初の日本帰国で帰りの羽田の全日空のカウンターにて。当然フィリピンからの出国のチケットは必要ありません。ところが、カウンターの女性はこのビザのことを知らず、いろいろ聞きまわって10分後くらいにやっとO Kができました。羽田が悪いのか、全日空が悪いのか、次回はセブパシフィックではどうなるでしょうか。

● S R R V取得者は原則として外国人のみが使用できるJAPAN RAIL PASSが購入できます。次回の帰国時グリーン車7日間日本のJ Rどこでも新幹線含めて乗り放題(のぞみはだめとのこと。東海道新幹線は強気です) 38,880円でDISCOVER JAPANをやってみたいと思います。さらにJ A L, A N Aの日本中どの路線でも片道10,800円で旅行できます。東京からですと、A N Aの石垣島、宮古島行がもっとも遠いので、いつか近いうち行ってみたいと思っています。

● 最後になりますが、ロングステイでフィリピンを嫌っている人の一番大きな理由は「治安の悪さ」でしょう。新大統領はこの点を非常に理解しています。交通渋滞の解消も積極的に行おうとしています。この数年でフィリピンの生活環境が大きく変わることを永住権を取った者としては切に望んでいます。

かねがね愛知県の暑い夏から涼しい北海道に逃れ、ノンビリと野菜づくりや魚釣り、各所を巡りながらの歴史探索・観光などして暮らして見たいものだと思っていたところ、知人から北海道で田舎の暮らしが体験できる菜園付きラウベ「秩父別町交流体験農園なつみの里」を紹介され昨年・今年とロングステイを楽しんでいます。

●滞在地

概ね北海道の中心、旭山動物園がある旭川市より東へ40km石狩平野の最北端の小さな町秩父別町、5月頃は西に暑寒別天売焼尻国定公園内の山々には残雪が残りそれは美しい眺めです。

この町は明治初期屯田兵（約400世帯）により開拓され現在の人口は約2,500人、面積は47km²で北海道内で二番目に小さな町です。

産業は農業オンリーで主力は米作、ブランド米「ユメピリカ」は全国ブランドでとても美味しいお米です。その他には果汁100%のトマトジュース「あかずきんちゃん」ブロッコリーを麺に練りこんだ「緑のナポリタン」などが特産品としてあります。

●滞在場所「なつみの里」の環境

丘陵地の頂上付近1,200坪の場所に菜園付きラウベが20棟点在、ラウベは平屋建て床面積は12坪で住宅の横には30坪の菜園があります。住宅はリビング、洗面洗濯スペース、倉庫に区分されシャワー、サウナ、洗面台、流し台、トイレ、暖房用薪ストーブの設備が整えてあります。

私が住んでいるラウベは敷地の北東の角にあり、窓から野山を眺めることができ季節の移り変わりなども見ることができます。時々エゾシカやキタキツネの姿も見られます。

使用可能期間は4月から11月まで、冬は

1メートルを超える積雪に埋もれ住むことはできません。

5、6月は住宅の周辺はタンポポの花で埋め尽くされ黄色一色となります。

滞在者の方々はご夫婦で住まわれている方がほとんどで、今年で10年目の方も見えます。遠くは宮崎県の方から道内の方までいらっしゃいます。

滞在者間の交流は食事会、お茶会、飲み会、そば打ちや登山などの趣味のサークル活動又、野菜の生育に関する情報交換などなど盛んに行われています。

滞在者に対し町が主催で行われるイベントは盛りだくさんです。

イベントの運営は町や「田舎の親戚」と呼ばれる会員の皆様により盛りだくさん行われています。

オリエンテーション、交流会（バーベキュー）、農作物育成アドバイス、田植え体験、町内視察、圃場整備、稲刈り体験、感謝祭などです。

特に交流会、感謝祭は参加人数は40名を超える賑わいで私は気に入っています。



●野菜づくり

5月下旬に種を蒔き、苗の植え付けを行います。

私の菜園はジャガイモ、カボチャ、枝豆、花豆、キュウリなどで22種類に及びました。

作業の流れとしては、堆肥、苦土石灰を施

し耕運、畝立て、種まき苗の植え付けから始まり追肥、雑草取り、そして収穫です。5月から6月の中旬までは畑作業に没頭する時期となりますが収穫が始まる8月初旬までは、畑作業以外の観光地訪問などに時間が費やしてできます。今年の主な野菜の収穫量はジャガイモ70kg、カボチャ50個、枝豆20L、トモロコシ60本、今年の収穫状況はトモロコシは実入りが悪く、予定の収穫量は予定の6割程度でしたが、味はgoodでした。送り先より去年に引き続き甘くて美味しいと大好評でした。

●登山

去年北海道に来てから山に登り始める、それまでに登った一番高い山は岐阜県の金華山(標高328m)。去年は手始めに暑寒別岳(1492m)に挑んだものの8合目を過ぎたところで右足太ももが痙攣を起こし下山、2回目のアタックは9合目を過ぎたところで今度は強風に見舞われ大事をとって下山、結局3回目のアタックで山頂に立つ。気分は爽快、充実感も溢れ山頂からの展望に感動しました。

この登山で自分の持久力、筋力などを知ることができました。

決して無理をせず不安があれば登山を中止引き返すをモットーにその後、南暑寒岳、アポイ岳、黄金山登山を楽しみました。

今年は富良野岳、十勝岳(標高2,077m)、美瑛岳、暑寒別岳(2回目)に登る。

高山に咲き乱れる小さく可憐な花々を沢山撮影できました。

花の名前を覚えようとしたが多すぎて覚えきれず。

道内には日本百名山が9箇所、日本花の百名山が16箇所あります。来年はこの中から登山難度の低い順に挑戦予定。

●山菜採り、キノコ採り

5、6月は山菜採りのシーズン。私が採る山菜はワラビ、ゼンマイ、ウド、フキ、タケ

ノコ、セリ、コシアブラ、タラの芽でウォーキングの途中に山野に入り採ります。

この中でもコシアブラの天ぷらは絶品です。しかしなコシアブラを採取する期間は10日間程度で時期を失すると一年待ちとなります。

なつみの里にはこの時期毎日山野に出かけ、大量の山菜を取り、何樽も塩づけにしている方も見えます。

9月はカラマツの下に生える落葉キノコを採ります。このキノコは料理をすると独特のぬめりが出て来ます、これが私は大好き。

何しろ自分で採った山菜は料理が上手くできなくても何しろ美味しい。



●花見

道内には至る所に花の名所があり、特に5月から7月にかけては多くの見所があります。今年私は滝川町の菜の花(作付け面積が180ヘクタールで日本一、ナタネ油を抽出)、滝上町の芝桜(10万平方メートル、一面の芝桜の背景には大雪山の勇姿が見られる)、上湧別町のチューリップ(7万平方メートルに200種類、咲き誇るチューリップの中から好きなチューリップを掘り起こし買うことができます。黄、赤、白と大きな花を咲かせたチューリップを5個と来年用にと12種類の球根60個を購入。10月上旬に送って来たので早速畑の脇に植えつける)、富良野町のラベンダー(富良野町で一番大きな規模のラベンダー畑に行く、ここには資料館、土産物売場、食堂が充実)、北竜町のヒマワリ(150万本見事も一言)、雨竜沼湿原(標高850m

の東西4km南北2kmの湿地帯、ミズバショウ、エゾカンゾウはじめ15、6種類の花が咲き誇る光景は見事)

何もスティ地より日帰りコース。



●ゴルフ

プレー料金がリーズナブルの一言に尽きる。

経験した一番リーズナブルなゴルフ場は、6,051ヤード、18ホール、パー72、乗用カートセルフプレーで3600円シニア割引有り。

200ヤード40打席の練習場やアプローチ専用グリーン(何時もガラガラ)もあります。

滞在場所近くのゴルフ場は平日であれば殆どが5,000円以下でプレーが可能。中でも一番近いゴルフ場は4km先に有ります。

平日のゴルフ場は閑古鳥が鳴いており、予約なしで行ってもOK。

曜日によっては1ラウンドの料金で2ラウンドできます。

弁当付きで2ラウンド6,000円の超低料金のゴルフ場もあります。

今年は14ラウンドをプレー、又も平均スコア100がきれなかった。

来年も100切りに挑戦しよう。

●魚釣り

昨年から海釣りを始める。

ホッケ、チカ、サバ、シャコ、カレイ、ヒラメ、鮭と挑戦するもゲットしたのはチカ、サバ、シャコのみ、なかなか難しい。

昨年、浦河町で短期スティした時、襟裳岬の近くの歌別港近くを通りかかると大勢の釣り人を見かけたので漁港内に行って見たら何と大きな鮭がボコボコ釣られているではない

か、まさに釣り堀状態。本来漁港の脇の川に入る鮭の群れが誤って漁港内に入ったらしい。

翌日、早速鮭釣り用具を一式購入して歌別港に行き竿を出したが坊主。どうも昨日のうちにほとんどの鮭が釣り上げたらしい。

今年は10月上旬にオホーツク沿岸の枝幸町(えさしちょう)に鮭釣りに一泊二日で行くも坊主。周りには釣り人が10人位の並んでいた釣竿は40本を超えていたが鮭を釣り上げる情景は見られなかった。

どうも時期が遅かったようだ。

魚釣りを初めて2年、要領はわかって来た。来年は大漁の予感がする。

●ロングスティを振り返って

愛知県の蒸し暑い夏を逃れ北海道の夏を2年過ごした。

やはり涼しい、来てよかった。夏の最高気温が30度を超えない湿度も低い。部屋にはクーラーも扇風機もなし、窓を開ければ涼しい外気が入り込み寝苦しい日はなかった。

ただ7月初旬の朝ストーブを焚くような寒さも味わった。

北海道には梅雨が無いと言われていたが雨は多かった。夏は短く、真夏と感じるのは10日程度ですぐ秋が来た。そして10月下旬には雪がチラホラ舞い始め冬が始まる。

滞在中、道内の観光地に多く足を運んだ。行く先々で多くの人と出会い、興味深い多くの情報を仕入れることが出来た。

北海道は兎にも角にも広い、滞在地より最北端の宗谷岬まで250km車で4時間、最東端の納沙布岬まで430km(6.5時間)、ほぼ最南端の松前町まで480km(6時間)とまだまだ行って見たいところは多く残っている。この2年友人、知人、南国暮らしの会の皆さんにも来ていただきました。来年も引き続き滞在をしますのでも是非お越しく下さい。一緒に北海道を楽しみましょう。

南国写真サロン



チェンマイ花祭り
No.1668 横野 昭一氏



イグナスの滝
No.742 池田邦彦氏



台湾テレサテンの墓所
No.1207 宮原正宇氏



オーストラリア エアーズロック
No.1686 弓野國男氏



ワイキキの虹
No.1578 山本雅巳氏



ユタ州ブライスカニオンへの途次
No.1651 田中栄一氏



礼文島
No.1027 佐藤周司氏



チェンマイエレファントキャンプ
No.717 染谷克義氏



カンボジアの水上生活者
No.1067 手石方了成氏



中国杭州の西湖
No.498 氏家 孝氏

北タイ・チェンセン

関東甲信越支部 No.1457 小野 耕一

私はここ数年冬は北タイ・チェンセンに滞在しています。

チェンセンについて記したいと思います。

バンコクからチェンライ空港まで約1時間30分、チェンライ空港からチェンセンまで車で約50分。

13世紀にタイで初めて王朝が興った町、東にメコン川に面し東西約1.5キロ、南北約3キロ、メコンに対しコの字型に煉瓦の城壁があります。

市内には市場は一か所しかありませんがチェンセン市役所、チェンセン警察局、イミグレオフィス、チェンセン水上警察、税関があります。

タイの王朝はチェンセンーチェンライーチェンマイスコートタイーアユタヤー現在のバンコク王朝になるようです。因みにチェンマイは新しい町の意味。チェンセンは遺跡の町といわれチェンマイのような規模ではありませんが城内外に多数の遺跡があります。何度もビルマ軍の攻撃にあい仏像の頭はありません。頭に宝石類を入れてあったので真っ先に頭を取られたそうです。現在のブミポン国王はラーマ9世ですがラーマ1世の時代までビルマ軍が駐屯していたそうです。

メコン上流9キロにゴールドトラリアングル、チェンセンからスピードボートが出ています。ゴールドトラリアングル上流をUターンして帰りにラオス領の中之島の土産物屋に寄ります。また自転車で40分、国道の左端にサイクルレーンがあります。チェンセン市は観光開発に注力しておりメコン川沿いにも遊歩道とサイクルレーンがあります。

ゴールドトラリアングルからミャンマーへ入るビザランドのメーサイ方面に車で5分位のところにメーファールーアン財団が運営するHall of Opiumがあり広大な敷地に数棟の博物館、じっくり見学すると2時間位要します。



メコン川対岸はラオス

チェンセンはメコン舟運の町でもあります。

中国雲南省景洪から中国やラオスの貨物船がチェンセンまでメコンを往復しています。チェンセンの下流に（チェンコンとの中間位）岩場があり貨物船は通航できません。中国船は旅客も乗せます。中国系の代理店が商品を扱い城外に広大な物流倉庫がありオーナーの自宅は豪邸です。代理店の看板には「報関代理」「商務代理」「客貨運輸」「船舶修造」などと書いてあります。チェンセンは中国文化圏の一面があります。チェンセンの高校の履修外国語は中国語です。



メコン川の中国船

チェンセンからメコン下流20キロにラオス・フエサイに渡るボート乗り場がありましたが下流に橋ができたので現在はタイ人、ラオス人しか利用できません。

今はチェンコンからフエサイまで橋を渡るシャトルバスが運行しています。

チェンセンの市場前で毎週日曜朝市がありメコン対岸のラオス人も商品を買りに来ます。おすすめはメコンの川海苔です。ちゃんと磯の香りがします。タイ人は川海苔をほぐしてニ

ンニクのみじん切りとフライパンでさっと加熱してご飯にのせ醤油を少々、大変美味です。

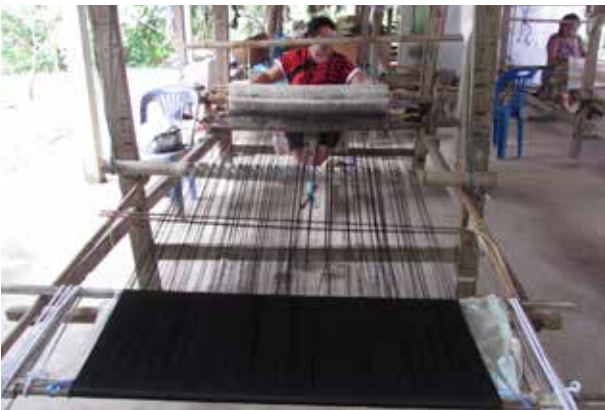


日曜日の朝市

メコンにタイのイミグレオフィスがありますがラオス人は勝手に上陸して来ます。昔からの慣習でタイ人、ラオス人はフリーとのこと。

車で行くことにはなりますが周辺にはいくつ興味深いところがあります。

ビザランドのメーサイ、ブミポン国王の母親が夏の離宮にしていた（現在は植物園）近くにミャンマーとの国境線があり見学できます。ドイメーサローン、大戦後蒋介石国民党軍の残党が定着した山岳地帯でタイで初めてお茶の栽培を始めた、クンサー将軍記念館、麻薬取引の大親分の住居、将軍は私兵2000名を擁し麻薬取引を牛耳っていました。地元の評価は大悪人ではないようです。他の仲買人のように買ったたかず適正価格で買い取っていた？チェンセン市内ですが手織りのタイシルクの産地、黄色（金色？）の繭から絹糸を紡ぎ織物にしています。天然素材の染料で染め婦人服一着分が6千円くらいです。



手作りのタイシルク

チェンセンの町を知ったきっかけです。

私はそれまでフィリピン・ジェネラルサントスに行っていました。タイでもLSに適したところはないものか？チェンマイばかりがタイではあるまい、チェンマイチェンマイ草木もなびくでもあるまいぞと数年前一か月かけて一人で南はパタヤから北タイまで行ってみました。私は開拓者精神があります。

チェンライの北のパハー村で日本人Yさんが民宿 fuji を経営していてここは日本人が立ち寄る北タイ情報の交差点みたいなのところなので泊まりました。

ここで得た情報、チェンセンにまだ看板はないがタイ人女性がゲストハウスを始めたようだ。場所を聞きさっそく行ってみました。タイ人女性が出てきて日本語ができます、聞けば20年近く日本にいたとのこと。両親の遺産を引き継ぎゲストハウスを建てたそうです。日本で日本人に世話になったので日本人専用にした。彼女の名前はスッピー、タイ人は言葉を略すので最近はスーと呼んでいます。この当時彼女は自分のことを「スーちゃん」と言っていました。

名前がまだなかったので私が「さくら旅館」と命名しました。日本が好きなタイの女性には「さくら」が似合うだろう、民宿 fuji は男なので男がふじなら女はさくらという軽いノリでした。さくらインとも考えましたがインバクトを考えて旅館に。



さくら旅館

PCで看板を作ってあげたらB4の手書きも欲しい。スピードボート乗り場や商店に掲示したい。タイではPCで作った看板をSD

カードに入れて看板屋に持っていくと厚手のビニールにプリントしてくれます。大きさや色調は自由に変えられます。この旅館戦術は当たりました。市内のホテルに滞在の夫婦3組が看板を見てホテルにキャンセル料を払い1週間滞在したそうです。

その土地で生活しているタイ人の話を聞くのは貴重です。



さくら旅館のオーナー スーちゃん

スーさんの弟は農家ですが副業で親族とともにメコンで大鯰漁をしています。舟を持っているので対岸ラオスに行ってみました。メコン中央部は流れが速く元全日本選手権ヨットマンでも怖かったです。メコン川岸に舟小屋があり夜対岸ラオスのカジノの夜景がきれいです。

スーさんはよく母親から聞いた話をします。

インパール作戦敗退の日本兵がチェンセンを通過したとき住民は日本兵の飯盒に砂糖やお米をいっぱい詰めてあげたそうです。

チェンセンの城壁の城門は東と西の二か所です。東の城門は母親が西の城門は父親が守っています。両城門の外側に祠がありスーさんは水かけ祭りの時供え物をします。東の城門にビルマ軍が攻めてきたときチェンセンの住民はみんなで城壁の外側に濠を掘り町を守りました。まるで見てきたようなことを言います。

水かけ祭り、水を掛け合って遊んでいるようですがそれはオマケのようなものです。毎年4月13,14,15日で祭日です。日本でいえばお盆の行事と同じ、翌日16日はお正月です。車のフロントに飾り物をつけます。



水掛け祭りの準備

スーさんは11人乗りのトヨタコミュニティとピックアップトラックを所有しています。運転手はイトコのアックン。1日4000バーツでどこへでも行きます。お客が日本人のときはスーさんがガイドで同乗してくれます。(ガイド料無料)

宿泊を要するときはホテル代を負担します。1日1万2千円です。数人でチャーターすれば安いものです。以前高校同窓女性2名が一緒にいきたい。美大卒で絵を描くのが目的。私より早く帰るのですがチェンライーバンコク便取れずチェンマイーバンコク便に。どうせならチェンマイで一泊しましょう、アゴダでジ・インペリアル・メーピン・ホテルを予約。地の利がいいしかつてテレサテンが住んでいたホテル、だからかつては五つ星お得です。チェンセンから4時間国道を突っ走って1万2千円です。悪い気がしました、スーさんは4000バーツでいいです。アックンはチェンマイも詳しいです。かつての日本人街を案内してくれました。今はハイソなブティック街。チェンライからチェンマイは国道の拡幅工事をして以前よりスピードが出せます。

●アックンは中国人もチェンマイを案内しています。中国人はカラオケバーで一晩に10万、20万バーツを平気で使うそうです。アックンはボッタクリバーをよく知っていますので安心して任せられます。

スーさんのオジサンはムエタイ王者、6回

防衛しました。リングネームは「星とミルク」(なぜ?) 今はゴルフ三昧、チェンライのゴルフ場を案内してくれます。スーさんはゴルフ道具などリピーターには荷物を無料で預かってくれます。

またコテージ(1ルーム、簡単なキッチンとバストイレ)を年間契約なら月4000円で借りられます。4棟ありますが全部日本人が借り

てくれたら屋根つきのBBQなど作ってくれるそうです。

スーさんは飲んで騒ぐのが大好き、スーさん用語「小野先生、今晩はワイワイしよう!」スーは缶ビールをストローで飲みます。なぜか最近「先生」になりました。

ペナンで起業

関東甲信越支部 No.1284 高木 進

<マレーシア・ペナン>

多民族と多文化が共存するマレーシアの魅力は多彩に満ちたエネルギーな国です。

そして何よりも親日的で社会が安定している事でしょう。

そんなマレーシアでの一番人気はリゾート地でもあるここペナンではないでしょうか。

私たち夫婦は「人生における最後の楽園」としてペナンを選びました。

<ペナンの街の風景>

ペナンの一番の特徴は世界遺産に登録され、政治の中心でありながら観光・経済の盛んな大都会と静かな山並みと綺麗な海岸線・田舎が共存している事でしょう。

マレーシア本島とペナン島は二つの大橋で結ばれています。

ペナンでの観光は極楽寺は特に有名で、旧正月頃の夜景は最高に綺麗です。色々な飾りつけとイルミネーションを見ていると、あの世の極楽浄土とはこんな素晴らしいところかと、幻想を抱く程でした。

中国の寺院、インドヒンズー教の教会、マレー人の回教寺院、タイ、ビルマ寺院はどれも立派です。マレー人の伝統産業としてのバティック染色やジョージタウンにはリトルインディア街やコーンウォーリス砲台それにサイクリング観光等があります。海に面してヨットハーバーがあり沢山のヨットが浮かび周りには高級レストランが並びハワイやオーストラリアを連想するような街です。

スーパーはテスコやジャスコがあり買い物は日本のそれと殆ど同じです。

<私達のペナン島の生活>

一年中服装はTシャツ1枚に短パン・それにビーチサンダルです。

中華・インド・マレー・タイ・欧州・それに日本の屋台も多く 夜も蚊や虫も殆どいなくて夜長を楽しんでいます。

コンドも海岸に近く日中は32度位ありますが海風がありカラッとしていて殆どクーラーを使いません。

車で市場に買い物に行き人気の店で飲茶で食事をした後マッサージ(1時間で約2,000円)や鍼(1回約600円)に週一回は通っています。

プール、ウォーキングは毎日他にハイキング・ジム・ヨガ・太極拳を楽しんでいます。

<ペナンで起業>

そんな穏やかな第二の人生を送っていた私達に2015年7月に大きな変化がありました。

ペナンの人気リゾートの中でも多くの方の憧れの海岸があります。そのシーサイドで海の好きな友人が民宿と日本食屋を営んでいました。私も海が大好きで煩雑に遊びに行っていました。

ところが其の友人が突然亡くなってしまいました。彼の奥さんから「そっくりこの店と民宿を引き受けてみないか」と相談を受けました。妻や子供達からも海外でこの年齢での起業に大反対されましたが悩んだ末思い切って承諾をしました。

後で分かった事ですが「どんな形でも良いのでここを引き継いで残してもらいたい」が彼の遺志だった様です。



民宿裏のビーチ



浜に打ち上げられたイルカ

<店作り>

ロングステイヤーの趣味はゴルフ・テニス等が盛んです。しかし私は得意でないのでうどん作りの趣味を生かした施設を造ろうと考えました。

私は日本において自分で手打ちうどんを打ち、好物として良く家で食べていました。地元・埼玉県の鴻巣市もうどんの食文化が盛んな土地柄です。公民館のうどん教室や東京のうどん学校のセミナー等にも通いました。

そして麺作りに独自の工夫をして、やっとな美味しいうどんが出来るようになりました。これを活かした店づくりをと決め、2015年7月日本の自宅は息子夫婦に譲りマレーシアに戻りました。

引き継いだ物件はそのままでは理想とするうどん屋としては使えないので、設備を導入したり家の改装工事等に3か月程かかり2015年10月新しいうどん専門店民宿「渚亭」としてオープンしました。

それから1年がたちメニューも確定し20種以上と豊富になり運営ノウハウも覚えて来ました。



オープンキッチン

<私達の夢>

私達の夢は日馬親善に役立てるように日本の公民館的な機能を海の家「渚亭」に作る事です。

其の為に此处で色々な無料サークルを始められたらいいなと思っています。

イベントやサークル活動を少数ながら始めています。お客様自身が企画運営される事もあります。

マレーシアは多民族国家でありペナンは国際色豊かな街です。仕事は勿論日常生活するにも色々な国の言葉が出来なくてはなりません。其の為にここペナンには外国語会話の教室がたくさんあります。

そんな事もあり日本語の学習をしている人が日本語を話す機会を求めて此处に来られます。

そういう方々の要望もあり「言葉の交流会」も10月より始めました。



日中英言葉の交流会



盆踊り大会うどん出品

<家庭菜園>

私達のもう一つの趣味は家庭菜園です。お店の周りにはきゅうり、オクラ、中茄子等の野菜からイチジク、バナナ、パパイア等の果実、いろいろな花を植え訪れる人達に見たり・食べたりして楽しんでもらっております。



菜園バナナ

<図書館>

日本への帰国者からの寄贈が殆どですが日本語の書籍が千冊程度あります。好きな本を本棚から自由に取り出し記帳無しで貸出もしていて、好評を得ております。

<渚亭から見た人間模様>

渚亭及び自宅コンドミニアムの隣近所はインド人、中国人、マレー人、ヨーロッパ系、韓国、ベトナム等々で色々な言葉が飛び交うので楽しいです。

お客様は家族連れが多く日本人の妻に現地夫（中国系、マレー系、インド系）又は其の逆、いろいろな人種の国際結婚又は其の子供達が渚亭で遊んでいきます。

日本語あり中国語あり英語、ちゃんぽんの言葉で大声で遊んでいます。不思議なのは言葉が通じているのかどうか、あまり子供たちには関係ないようです。自然とぶつかり合い体で憶えていくのでしょう。

ペナンは親子留学が盛んです。中国本土、韓国、日本、欧米等からインターナショナル又はローカルの中国人学校で学んでいきます。

留学ビザが簡単に取れるようで英国式や米国式のインターナショナルスクールが発達していて治安が良く安い生活費そして世界を牽引する英語と中国語が日常語として使われる環境がマレーシアに人気が集まる理由でしょう。

<最後に>

妻からも子供達からもこの齢での起業に大反対されましたがここペナンであえて新しい第二の人生を歩み始めました。

其の第二の人生をどんな風に考えどんな事をして暮らしているのか、外国での一つの老後の生活スタイルとしてありのままを報告致しました。ペナンにお越しの節はぜひお立ち寄りください。

(ご参考)渚亭

住所：26 Medan Tanjung Bungah
11200 Penang.Malaysia.

電話：+60 4890 4709

Eメール：nagisatei.udon@gmail.com
takagimituko@gmail.com

地球一周の船旅に参加して(平成28年4月13日(水)～7月27日(水)105日間)

東海支部 No.1739 榊原 正子

このピースボートに乗船することを決心したのは、45年間勤務した、ご褒美として、2年前説明会に参加したのが、きっかけでした。

これまで、仕事仕事で105日間自宅を開けるなど考えてもみませんでした。ショートクルーズに参加して、いつしか地球を一周することに引き込まれていきました。

会社・家族・近所などの周りの皆さんの協力

の中、実現したわけですが、一人旅はとても不安でした。

神戸より、乗船してシニア層の多いのにびっくりでした。もちろん若い働き盛りの人は休暇取りにくいし、それでも多くの方が乗船していました。

そして、シニア層のリピーターが多いのにびっくりでした。

船はオーシャンドリーム号最大1455名乗船、夢が実現となりました。



オーシャンドリーム号

●桜の季節平成28年4月13日神戸港から一路南下して、マレーシア、シンガポール、スリランカ、そして、スエズ運河を就航し、キプロス、ギリシア、エーゲ海クルーズ、イタリア、スペイン、ポルトガル、フランス、イギリス、ドイツ、スウェーデン、ロシア、フィンランド、デンマーク、ノルウェー、ソグネフィヨルド観光、アイスランド、大西洋からカナダへ中南米はラグアイラ、ベネズエラ、キュラソークリスマス、プエルトケッアル、ハワイへと25ヶ国実に長ーい船旅でした。

まもなく、日本では熊本の地震が発生しましたが、情報はほとんど入らない状態でした。航海中の際に、参議院議員選挙、イギリスのEU離脱、新パナマ運河の開港と大きな出来事にも遭遇いたしました。

●スペインでは、現地お母さんの家庭料理を10人くらいずつ分かれて、各家庭でごちそうになりました。お接待を受けてとても親切にいただきました。現地アルファナテ村と言う所の活性化につなげていると説明していただきました。

又プエルトケッアルでは、マヤ文化体験でマヤの家庭へのホームステイは、家族と一緒に一晩すごしました。“サウナにどうぞ”と言われて、マキで炊いて、水着で入りましたが、出て来た時にはスミで真っ黒でした。

この国の女性たちが抱える問題、人身売買や女性軽視のことも知りました。

戦争で難民となり、他国での受け入れ態勢がもう満杯となり、各国では、とても苦勞して

いるとの事でした。ドイツの国際平和村は、戦争で傷ついた子供達を治療して母国へ帰してあげるボランティア活動を日本の女優東ちずるさんが中心となり、日本スタッフも応援活動していらっしゃるという事を知りました。ご本人も一週間乗船されて、その活動についてのご講演などお聞きしました。心からの感動でした。

寄港地では、旅行社の企画では、考えられない現地住民との触れ合い、情報、現地住民の生活環境、文化など知る最高の機会に恵まれました。

日本国内では、得られない情報、戦争、テロ、貧困な国、難民の現実、今なお傷ついている女性や子供たちの現実なども知りました。

この船の洋上で幸せに船旅続けている私たちは平和で幸せであることを真から感じ取りました。

●どの寄港地・各国でも、感動する場面はありましたが、私がもう一度訪れてみたい国は、やはり北欧のノルウェーのソグネフィヨルド観光。フィヨルドと雪のかかる山並み・自然は最高のロケーションでした。又、アイスランドのレイキャビックも再度訪れたい国です。

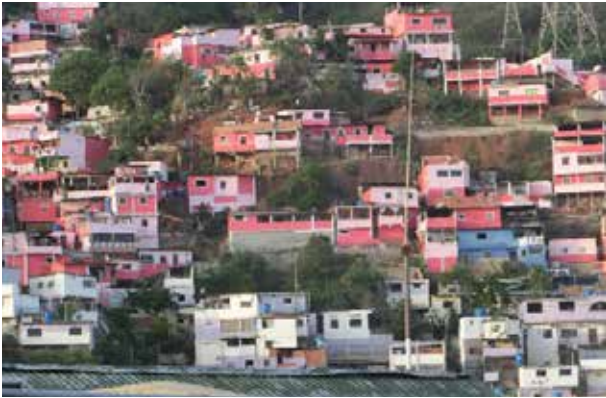


ノルウェーのベルゲンにて

大西洋からカナダにわたり南米へと中南米は訪れたことがなかったこともあり、ベネズエラ、カラカスのフェルミン・トロと言う学校の子供たちとの交流会には、目を見張るものがたくさんありました。

日本の教育現場では忘れつつある、人として、生きるために必要なものの生産活動を教育の原点にして、環境づくりしていることでした。

子供たちの目は輝いて澄んでいました。貧困層の多い国、いつの日かベネズエラも平和で豊か国となるよう祈っていました。



ベネズエラの街並み



カラカスのフェルミン・トロの子供達

●洋上では、毎日船内新聞が発行されて、自分が参加したいプログラムに参加していました。私は毎朝6時から太極拳～ヨガを終えて、体のリンパマッサージをほぼ毎日続けることができました。朝食を済ませて9時からは、乗船された水先案内人のご講演そして、社交ダンスと毎日スケジュールはいっぱいでした。そのせいか4カ月洋上生活して、6キロもの体重減・・・今は、筋トレで回復しています。

趣味のゴルフには、一度も行けなかったですが、練習場だけは2～/週練習していました。洋上での夏祭り・メインイベントは一千人近い参加者の赤・白・青・黄の4団に分かれての大運動会で一大イベントでした。夏祭りだって日本にいる時と同様盆踊り、子供に帰った模擬店の数々非日常的な日々は最高の時間と空間でした。

中には、自分の趣味や得意とするイベントを自主企画して、皆さんにPRしたり教え合ったりして、一緒に楽しんでいる方も見えました。

太極拳・ヨガ・リンパマッサージ・卓球・居あい・詩吟・ウクレレ同好会・社交ダンス・絵画・カラオケ・オカリナ同好会など数々の発表会もあり、プロ同様の発表会となりました。

中でも社交ダンスは人気のある活動で、私も楽しい毎日を過ごすことができました。



船内で少しだけおしゃべりして!



船内でのフルーツパーティー

105日間の船旅を通じて、北海道から沖縄までの参加者の人との出会いがあり、又海外の方とのコミュニケーションで、多くのメールアドレスを交換した友人との出会いがあり、船を下りてもお互いつながりを大切に次の計画を立てています。

●最後に、人として幸せの基準はそれぞれ違うけれど、戦争で傷つき、難民になり生活環境を追われている人のいない、この地球上に住む全ての人類が、安全に安心して生きられる国にならない限り、真の平和と幸せは来ないのだとつくづく感じさせられました。

ピースボートに乗船して、たくさんの出会いと別れあり、また水先案内人の先生のご講演など、私のこれからのシニア人生の新たな支えになるような地球一周の旅でした。

日本のテレビ、新聞、雑誌を海外で楽しむ

1. 日本のテレビ放送を見る

日本のテレビ放送を見る方法は、NHK ワールド、長期滞在者向けの現地業者によるテレビ配信、怪しげな中国発のインターネットサイトなど多くの方法があり、ほかに Youtube には放送済みの番組が多数アップされています。それぞれ番組が NHK に限られる、短期滞在に向かない、著作権違法、ライブでないなどの問題があります。本来は放送局自身がインターネットを経由した放送をすれば良いのですが実現していないので、ここでは自宅で受信したテレビ放送をインターネットで旅行先に転送する方法を紹介します。この方法はインターネットがあれば滞在国を選ばない、合法である、自宅で見ると同じ多くの放送を視聴できるなどの利点があります。実現には対応した機械を自宅に設置する必要があります。

(1) リモート視聴

自宅で受信した地デジ、BS などのデジタル放送をインターネットで転送します。本来は自宅内、国内の外出先でスマホで視聴することを想定していますが、海外でも視聴できます。

リモート視聴機能を備えるビデオデッキ(ブルーレイ(BD)レコーダー)あるいは Nasne(ナスネ)が必要です。リモート視聴機能はメーカーにより、「外からどこでもスマホで視聴」、「どこでもテレビ」などの名称で、2014年以降に発売された BD レコーダーの上位機種に搭載されています。

Nasne は、ソニーの商品でビデオデッキから BD、DVD ディスクを作成する機能を除いた形のハードディスク内蔵の録画装置です。最近録画はテレビに内蔵あるいは外付けハードディスクを接続して録画し、ビデオデッキを持たないことが多くなっていますが、Nasne であればビデオデッキ無しでリモート視聴が可能です。

受信側はスマホ、タブレット(一部メーカーはパソコンも可)に対応するアプリをインストールして受信します。視聴を可能にするためには、出発前に自宅で送信側(ビデオデッキ、Nasne)と受信する機器(スマホ、タブレット、パソコン)でペアリングを行います。このペアリングの有効期間は90日で、期間を過ぎればもう一度自宅で行う必要があります。したがって90日間を超える滞在には不向きです。

(2) スリングボックス(Slingbox)

90日を超える滞在には期間の制約のないスリングボックスが適します。スリングボックスは米国の会社の製品ですが、同種の機械はほかにもあります。

自宅にはスリングボックスとビデオデッキを設置します。スリングボックスは有線 LAN または WiFi によりルーターを通じてインターネット回線に、ビデオデッキはテレビアンテナ端子につながります。

受信はパソコン、タブレットで行います。

次の表はそれぞれの比較を示します。選択の基準は、①滞在期間が90日以上の場合はスリングボックス、以下の場合にはどちらでも OK、②リモート視聴機能のあるビデオデッキを持っていない場合は Nasne、③リモート視聴機能があるデッキを保有または購入する場合は BD レコーダー、の順になると思います。

設置はパソコンに詳しい方は支障ありませんが、詳しくない方は詳しい方のサポートが必要と思います。

表1 テレビ遠隔視聴比較

必要な機器	送信側(自宅)	受信側(海外)	リモート視聴		Slingbox
			BDレコーダー	NASNE	
		BD(DVD)レコーダー	○	—	○
		NASNE	—	○	—
		Slingbox	—	—	○
		パソコン	△(注1)	○	○
		タブレット(注2)	○	○	○
		高速回線が必要	光回線、CATV回線が望ましい		
必要な回線	送信側(自宅)	高速回線が必要	ADSL回線も使用可(速度が1Mbps以上が望ましい)		
	受信側(海外)	中速回線が必要			
費用	機器	BD(DVD)レコーダー	約5万円～	—	約5万円～(注3)
		NASNE	—	2万2千円	—
		Slingbox	—	—	2.8～3.5万円
	設置費用	設置を依頼する場合のみ	—	—	1.5万円
	毎月の費用		無し		
受信可能期間の制約			90日間以内	90日間以内	制約なし
タブレット、パソコンから液晶テレビへのミラーリング			x	x	○

(注1)一部のメーカーで視聴アプリ(有料)を提供
(注2) iPad、アンドロイド系のどちらも利用できる
(注3) 新規購入の場合(既設の場合は不要)

2. 日本のラジオ放送を聞く

日本のラジオ放送を聞くパソコン、タブレット、スマホのアプリにRadiko(ラジコ)があります。このラジコは国内限りで海外で聞くことはできません。以前はRazikoというアンドロイド系タブレットのアプリにより海外でも聞くことができたが、現在はできません。VPN(Virtual private network)というやり方でRadikoを聞く方法もありますが、少々難しく一般的ではありません。

3. 新聞、雑誌、本

新聞ニュースは各新聞社のWebサイトで閲覧できます。無料会員は閲覧内容が制限され有料会員(月額数百円)になると記事全体を見ることができます。ほかに紙の新聞本紙と同じ体裁の電子版もあります。料金は電子版単独の場合は月額数千円ですが、本紙を宅配でとっている場合は、本紙料金+1000円です。ユニークなのは産経新聞で、本紙を契約しなくても本紙と同じ体裁の電子版をタブレットの場合で月額1600円とお安めです。ただし産経新聞は夕刊はなく朝刊のみです。電子版は月単位で契約できますので、滞在期間に合わせて契約するのも良いと思います。閲覧にはパソコンよりも画面上で文字を拡大できるタブレットが適しています。

雑誌の読み放題サービスは10社程度あり、いずれも週刊誌を中心に150誌程度を週刊誌1冊分程度の料金で配信しています。代表的なところではDマガジン(月額400円)、楽天マガジン(月額380円)などです。総合週刊誌のほか経済、女性、ファッション、スポーツ、趣味など多分野の雑誌があります。内容は一部削減されており全く同一ではありません。タブレットで閲覧します。

多くの出版社が紙の本と同じ内容の電子書籍を発行しています。それを配信(販売)する電子本ストアも多数あります。代表的なアマゾン(Amazon)では、Kindleという名称で和書を40万冊揃えています。電子書籍を閲覧するビューアーもiPad、アンドロイドともに利用でき便利です。

パソコン、タブレットの選び方

ロングステイに持参するパソコンなどのデバイスへの要求条件は、小型軽量が最も大きく、次

いで低価格、高性能が求められます。タブレットの登場で大きなパソコンを持ち運びする必要がなくなり、またパソコンも旅行に適した小型軽量、低価格のパソコンが多く販売されるようになりました。さらにSIMフリーの格安スマホの登場により、日本で日常使うスマホをそのまま海外に持参し日本語表示のまま使えるようになり便利になりました。

1. ロングステイに適したパソコン

ロングステイには、Light ユーザー向けの性能で小型軽量のモバイルパソコンが適します。Light ユーザーとは、インターネット閲覧、メール、スカイプ、Youtube、オフィス（ワード、エクセル）などの軽い利用が中心で、高性能を要求する動画編集、激しいゲームなどの重い利用を必要としないユーザーを言います。パソコン教室に参加する会員の皆さんの利用動向からみても、殆どの会員の方は Light ユーザーと言えます。

最近多いハードディスクに代わり半導体ストレージを使用したモバイルパソコンは、

- ・重量 1 kg 前後で持ち運びが容易
- ・性能は高くないが動きは良い。
- ・3万円程度と安い

などの特長があり、言ってみればタブレットにキーボードを付けた形のパソコンです。

表2 パソコン比較

	モバイル・パソコン	タブレット	スタンダード・パソコン
大きさ	11.6インチ	8インチ	15.6インチ
重量	約1kg	360g	2.5kg
タッチパネル	×	○	×
OS	Windows10	Android/iOS	Windows10
ストレージ	半導体	半導体	ハードディスク
ストレージ容量	64GB以上(注1)	16GB以上	500GB以上
有線LAN	×	×	○
WiFi	○	○	○
DVDドライブ	×	×	○
キーボード	○	×	○
マウス	○	×	○
バッテリー	取り出せない	取り出せない	取り出せる
サクサク動く?	可	可	値段次第
駆動時間	10時間程度	10時間程度	4時間程度
オフィス(注2)	利用可	使用できない	利用可
価格	約3万円	1.5万円~3万円程度	5万円~15万円

上記は代表的な仕様を示しており、個々の製品では異なる場合もあります

(注1)32GBの製品も多くありますが、64GB以上をお勧めします

(注2)価格にはマイクロソフト・オフィスは入っていません

このタイプのパソコンは、最近多くのメーカーから発売されています。下記はその例です。

表3 低価格モバイルパソコンの例

2016/10/23 現在

メーカー	モデル名	液晶サイズ	メモリ	ストレージ容量	重量	オフィス	価格(円)
Lenovo(中国)	ideapad 300S	11.6インチ	2GB	64GB	1.23kg	無し	27,800
Dell(米国)	Inspiron 11 3000	11.6インチ	4GB	120GB	1.2kg	無し	38,000

ただしモバイルパソコンにはいくつかの制約があります。

- ・DVDドライブが無いので、必要なら外付けDVDドライブを購入する必要がある
- ・ストレージ容量が少なく、大量のデータ（写真、音楽、ビデオなど）の保存には適さない
- ・画面が11.6インチと小さく、またタッチパネルでないので文字の拡大ができない

これらの制約を承知であれば十分利用価値のあるパソコンです。

2. タブレット

最近では大きな画面のスマホに押されてタブレットの人気は今一つですが、パソコンよりも軽く操作が易しく、パソコンが故障したときに代わりに使える利点もあり、多くの方がロングステイにタブレットとパソコンを持参しています。ちなみにiPadとiPhone、アンドロイド系のタブレットとスマホは画面の大きさが違いますが基本的な操作は同一です。

画面の大きさが7～8インチのタブレットで、アップルのiPad mini4が4.6～6.1万円程度、アンドロイド系タブレットはこれよりも安く2万円前後から多くのメーカーから出ています。最近ではSIMフリータイプのアンドロイド系タブレットが安くなり、スマホと同じように屋外でも利用しやすくなっています。下記はSIMフリーのタブレットの例です。

表4 SIMフリー・タブレット

モデル名	メーカー	サイズ	重量	WiFi	SIM	価格
iPad mini4 SIMフリー	アップル (米国)	7.9インチ	300g	○	○	61,000円
MediaPad T2 7.0 Pro LTEモデル	ファーウェイ (中国)	7インチ	250g	○	○	23,000円

3. パソコンをどこで買うか

ここで述べた安いモバイルパソコンは量販店ではほとんど販売していません。アマゾンなどの通信販売あるいは量販店の通信販売で販売しています。比較サイトの「価格コム」で最安値を探し購入するのが良いと思います。ちなみに量販店の店頭は、高機能、高価格な国内メーカーのパソコンを中心にしています。消費者の国産信仰と店員とのパソコンに関する知識差で、往々にして不必要に高性能の高いパソコンを購入することになりがちで要注意です。

格安スマホについて

今話題の格安スマホは、携帯大手3社（ドコモ、au、ソフトバンク）に比べ料金が半分以下と文字通り格安でユーザーが拡大しています。

格安スマホは、SIM（シム）フリーのスマホ本体とSIMから成り立っています。SIMは格安携帯事業者のMVNO（Mobile Virtual Network Operator）が販売します。MVNOは携帯大手3社から通信インフラを借りて携帯サービスを提供する事業者で、自前の設備を持たないので安い料金で提供できます。SIMは電話番号など加入者を特定する情報を記録するICチップ内蔵のカードで、スマホに挿入して使用します。大手3社はSIMロックで他社で使用できませんが、格安スマホではSIMフリーのスマホにSIMを挿入すればどこのMVNOでも使用できます。

1. 格安スマホ（参考サイト「格安SIMとスマホ比較」<http://kakuyasu-sim.jp/>）

格安スマホを利用するには、SIMフリーのスマホとSIMを購入します。

(1) SIM

SIMの月額料金の例（IIJmioの場合）は次の表の通りで、他社もほぼ同じです。他に初期費用としてSIM代金3000円が必要ですが、同じSIMをアマゾンで安く販売しています。

表5 SIMの例（IIJmioの場合）

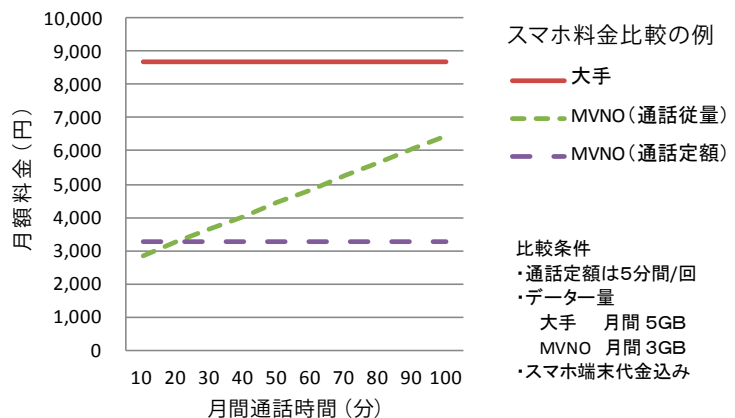
SIM種別	月額基本料金	通話料金	解約	備考
データ専用	900円	—	1か月	データ量3GB/月の場合。以下同じ
データ+SMS	1140円	—	1か月	SMSはショートメッセージ、LINEに必要
データ+通話	1600円	20円/30秒	1年縛り	

通話定額制（かけ放題）もある。3分間以内何回でも月額600円、5分以内830円

下記のグラフは大手とMVNOとの「データ＋通話（電話）」料金比較です。大手スマホと比較を合わせるために、スマホ端末を一括購入でなく24か月の分割とし、月々の料金に含ませています。

スマホ端末の機種が違うなどで正確な比較は難しいですが、大まかな傾向は見て取れます。

格安スマホの通話SIMの料金は、月額基本料（1600円程度）と通話ごとの従量課金（30秒20円）の合計です。したがって通話時間が長くなると支払額が増えます。最近はLINEなどで代用することも多く、電話をあまりしない傾向にあります（月間15分間以下が約6割）。月間15分間で合計支払額は2200円程度です（スマホ一括購入の場合。24か月分割支払いでは約3000円）。通話時間が長い場合は、通話定額制にするか、あるいは格安スマホはデータ専用とし、通話はガラケーとの2台持ちなどの工夫で支払額を抑えられます。ただし長時間、何回も電話する方は大手の方が安くなり格安スマホには向きません。



2年間に支払う費用総額は、上記のグラフの例で大手約20万円、格安スマホで約8万円程度になります。上のグラフの場合は、スマホ端末の代金を割符で2年間料金に含めて支払うケースです。大手と異なりMVNOは割符期間終了後の料金は割符額だけ減額されます。

(2) SIMフリースマホ本体

現在スマホを使用している方は、SIMを交換するだけで格安スマホとして使用できます。交換するSIMはドコモであればドコモネットワークを利用するMVNOのSIMを使用します。現在は、20社程度のMVNOがありますが、殆どはドコモネットワークを使用しています。au系は3社程度、ソフトバンク系はありません。

ガラケーからの変更あるいは新規にスマホを始める場合は、SIMフリースマホを購入する必要があります。SIMフリースマホは、国内外のメーカーから1万円台から数多く販売されています。中心は2～3万円台で、今時点で人気のある機種の例を下記の表に示します。

表6 格安スマホの例 2016/10/23 現在

機種名	メーカー	大きさ	価格
ZenFone Go	ASUS(台湾)	5.5インチ	21,000円
P9Lite	ファーウェイ(中国)	5.2インチ	30,000円
Arrow M03	富士通	5インチ	35,000円

大手携帯の場合は、代理店に行けば設定を含め簡単に購入できますが、格安スマホの場合は、量販店や通信販売で購入するか、あるいはMVNOがSIMとともにセット販売するスマホを購入します。

2. 海外で使うには

ロングステイで携帯を使うには、従来は日本から持ち込んだ携帯（ガラケー、スマホ）で国際ローミングを行うか、現地でガラケー、スマホを購入して使用するかでした。国際ローミングは極めて料金が高く、緊急時以外の日常に使用するのは躊躇します。現地のガラケーは日本語が使用できず、現地購入のスマホはSIMフリーが多いのですが、日本に持ち帰っても携帯大手3社で

は使用できないなど不便でした。

ロングステイでは国内とともに海外でも使用できることが条件になります。そのためにはスマホおよび国内と海外の携帯会社がサポートする通信方式と周波数帯が一致する必要があります。詳しくは述べませんが、これらの通信方式と周波数帯は国際基準で統一されていますので、日本で購入したSIMフリースマホは海外でも使える場合が多いと思われます。

海外に持ち出した場合に注意することは、料金が極めて高い国際ローミングを使わないことです。スマホにインストールしたアプリによっては、アップデートなどで自動的に通信するものもあり、結果的に国際ローミングで高い金額を請求されることがあります。現地携帯会社のプリペイドSIMに交換すれば、国際ローミングでなく現地の料金で利用できます。

3. 携帯大手から格安スマホへの変更

契約中の大手スマホを解約して格安スマホに乗り換える際の注意事項（項目のみ、詳細は省く）

- ・2年縛りの契約途中で解約すると違約金を請求される。解約フリーの期間に行うこと。
- ・電話番号を格安スマホでも継続する手続き（MNP）を行う。
- ・携帯メールは無くなるので、Eメールを使い連絡先にメールアドレス変更を通知する。学校の連絡網など多人数が関係する場合は、全員へ通知し相手にアドレスを変更してもらうことが難しいこともあるので要注意
- ・解約前に電話帳データを保存すること。

4. 留守宅の通信費用削減策

格安スマホの利用でロングステイに思わぬ利点があります。長期滞在者が帰国時のために留守宅の電話、ネットの回線契約を残し、使用しないにもかかわらず料金を支払っている場合があります。格安スマホは大手スマホと異なり解約に対する制約が少なく、データSIMの場合は、自由に解約と再契約ができますので、帰国時のみ契約して費用を節約できます（通話SIMの場合は半年から1年間の縛りがあり、期間内に解約すると違約金の支払いが生ずることがあります）。

- ①格安スマホ（データ + 通話SIM）を年間を通じて使用し、従来の電話、ネット回線を解約する。
- ②固定電話が必要な場合は、電話を残しネット回線を格安スマホ（データSIM）に変え、滞在期間だけ契約し料金を支払う。予め同一SIMを2枚購入し、出発時に1枚を解約し、帰国時にもう1枚で新規契約すれば帰国当日から使用できます。

以上でパソコン、タブレットはスマホのテザリングを使いWiFiで接続できます。

パソコン、タブレットの動作不良などで相談したいことがあれば、筆者までメールでご連絡いただければできる範囲でお手伝いします。海外からを含め多数の方から相談を受けており、スカイプを介して話しながら解決方法を探します。

メールアドレス yosi.watanabe@gmail.com





「何を今更、日記など」と、言う声が聞こえて来そうである。

しかし、退職直後から書き始め、その後6年間以上、毎日欠かさずに日記を書き、其の効用が意外と大きいので皆さんに報告しようという気になった。

1. 私にとっての日記とは

日記はその日の出来事を記すのが第一義であろう。しかし我が家の日記は色々な目的がある。金銭出納帳、メモ帳、随想録、一日の行動記録、など書きたくなった事何でも書く。本を読めば読后感想も書くし、TVを見て料理番組のレシピを書くこともある。自分史を書いた事もあるし、その時々のおもいや感じていることも書く。

しかしながら6年間の日記ライターの実験から言えば、後で読み直して最も面白く貴重なのはその日のありのままの行動の記録と、素直な心象の描写であることに気がついている。

2. 日記の様式

2010年4月退職時から毎日欠かさず日記をつけている。日記は、A4版の普通のノートの一ページを一日分に当てている。もう40冊になった。

ノートは黒と青いボールペンで、紙面を埋める。

青は家内が書いたところだ。主として金銭の消費明細と、その日の時系列の出来事を書いている。黒は私の書いたところで、その日の出来事の詳細や、その他紙面に余裕があれば、なんでも書いて、紙面を埋める。文字数を数えてみると、青のボールペン部分は200字足らず、黒は約800字である。



月の終わりには、その月の経費のレビューを書いている。そして、その月の所感を簡単に書いている。

3. なぜ日記なのか?

まずは、退職前は新しい生活に対し、不安でいっぱいであった。自分だけですべての時間を取り仕切り、収入と支出のバランスを考えて生きていかねばならない。

その為には、日々の記録をきちんと取って、思った通りの生活ができているかどうか常にレビューしていく必要があると考えた。私は見かけによらず心配性なのである。

その為に日記をつけはじめたが、まずは支出が身の丈に合って適正かどうかが一番の関心事であり、最初の日記は金銭出納帳と食事の内容が主たる記事だった。

しかし、毎日ノートの一ページを使っているうちに、金銭と食事の内容だけでは、ノートの余白が多くもったいない気がしてきた。妙なところでケチなのだ。

それで、その日の出来事を書いたり、その他思いついた書いたりしているうちに、だんだんと当初からの形もかわり上述の今の形にたどり着いたというわけだ。

4. なぜノートなのか？

在職中は、日記は、業務中心にパソコンに記録したりしていたが、続かなかった。

では退職して何故、パソコンでは無くノートに日記を付けるようになったのか？

多くの方がパソコンを使って日記を書いていると思う。パソコンのほうが良いことも多々ある。最近では one drive 等というネット上の記憶域があり、パソコンからでも、スマホからでもタブレットからもアクセスできるのでそっちも便利かもしれないと思ったりする。

ちょっと様式は違うが、ブログとかを使って、日記を公開するのも人に依っては楽しいかもしれない。

私の場合は、白い紙面を自分自身の字で埋めていくやり方が好きで長続きしているのだ。

費用は大してかからない。百円均一ショップで買ったノートに、コレまた百均で買ったボールペンで紙面を埋めている。

パソコンを使うと造作なく漢字がでてくる。しかし紙に書くとなると頼るのは自分の記憶である。ボケていては漢字が出てこない。

認知症防止にいいのではと勝手に思っている。また、ゲルインキのボールペンで書くことでペン字の練習にもなる。

字とは不思議なものでその時々自分の精神状態を反映している。後で読み返して見れば、過ごした時間が自分の残した字から偲ばれるのである。

5. 日記の効用

日記は毎日の出来事を記録するものであることは云うまでもない。退職して長期の旅行を続けていると、多くの方と知り合いになれる。

自宅にいたら、近所の人と新しく知合ったり、言葉を交わす機会はあまりない。犬を飼っていた時は、犬と散歩のついでに「犬友」ができたりましたが、じいさん(私の事)が、見知らぬ人にやたらに話しかけても怪しまれるだけである。

旅先では、日本人と見ると気楽に話しかける

ことが出来る。退職した人が殆どなので、現地での情報交換は貴重である。ところが、せっかくお知り合いになれても名前や顔を忘れがちである。ところが、気に入った場所は毎年、行きたくないので又、同じ人と出会うことになる。それで、私は日記に出会った人を記録して、次年度に同じ場所に行くときは、日記を読み返して誰とあったという事を思い出して行くことしている。それでも、名前を思い出す前に、相手から「花房さん こんにちは」等と言われて、名前を聞くに聞けずにドギマギすることも時々ある。このような人はきっと日記をつけているに違いない。

又、我が家の日記は、夫婦で一緒に書いている。大体、金銭の消費明細と時系列の出来事、食事の内容は、伴侶が書いて、日々の出来事の詳細は私が書いている。

ダブっていることもあるが、一向に気にしない。お互いに書いたものを見ているので、情報の共有ができる。時には、書いたことをめぐって喧嘩になったりするがつまりは、感覚のズレを発見して調整していると考えれば、喧嘩も効用があるのではないかと思う。

私は最近、老人性突発怒り症(?)にかかっている。何故かつまらない事に突然、腹が立ち声を荒げたりする。気が小さいので怒る対象は伴侶がほとんどだ。

怒った後で反省して時々日記に懺悔の意を表している。お互いに見ている日記なので口に出しては言いにくい事も平気で書ける。

6. 日本語を楽しむ

言葉に興味があって、今でも英会話や中国語会話をラジオで聞いているが、一向にものにならない。多分、一生モノにならないだろう。それでも、楽しいので毎日、ラジオを聞いている。ご存知のように、日本語は、膠着語と言って、単語を「てにをは」の助詞で結びつけて文を構成する。

英語でも中国語でも、語順があり、勝手に単語を並べても文にならない。ところが日本語は

誠に、柔軟性に富み、語順がどうなるうとも意味が通じる。

しかし逆に言うと、結構曖昧になりがちな言語であり、書き手がわかりやすく、且つ一意に意味が通じるように心を砕いて書かないと、訳のわからない文章になってしまう。

皆さんも、一流の作家の書いた文章でも、どちらにもとれるような文章に戸惑ったりした経験は無いでしょうか？

そういう特色のある日本語を使って、自分の文章は、子供が読んでもわかるような文になっているかと、反省しつつ文を書くのも又、楽しからずやである。

7. 日記のすすめ

この駄文をお読みの方は、多分退職後の老年生活を送っている方が殆どであろう。人生は残り少ない。残り少ない人生の一日一日を大切に生きたいと思うならば、日記はそれを支える一つの方法である。時間は少々かかるが我々には有り余る時間がある。



まだ日記を付けていない人は日記をつけてみよう。ぼけ防止はもちろんのこと、老人性突発怒り症(?)などの抑止効果もある。

その内、孫達が埋もれた日記を探し出して、読んでくれて、じじ、ばばはコンナふう生きていたんだと、感じてくれたらと夢をみている。



支 部 便 り

東北支部便り

支部長 No.1027 佐藤 周司

H29年のお正月も避難先の仮設住宅で迎えた早いもので6回目の新年！！

元の住まいの小高区避難解除から5か月が過ぎようとしています。帰還しているのは約500世帯1000余人。帰還率は1割、うち60歳以上が7割強。20歳未満は数パーセントにとどまっているのが現状です。

買い物環境、介護。福祉。医療。行政区の再編。防犯上の問題等が山積していますが不安要素の解決に向け、官民一体で環境を整えているようですが、さい先は不明。まだ山際には汚染土壌を土嚢袋で保管している仮置き場が多く復興半ばです。

支部活動はロングステイ1年生の私、目線も自分の足元だけしか見えないが背伸びしないで情報交換会に望みたい。少数会員ですが、まだ顔もしらない、姿も見ない会員もいる(往復ハガキによる出、欠の連絡にも返答ない忙しい会員もいます)年2回の顔合わせです、是非お会いしましょう。

H29年度の活動ですが情報交換会は年2回の予定です。4月の第3日曜日。9月の最終日曜日です。初級者から上級者まで全員集まり、自分の旅物語を語り合い、情報を共有しましょう。

プロジェクター、スクリーン、パソコン持参しますので、皆様はデーターのみお持ち頂き話合い歓談することで、物語を共有できるし、今後の参考になります。

・東北支部過去最大のイベント(私の知る限り)支部セミナーがH28年10月9日仙台市民活動サポートセンターにて広報部会支援

のもと開催されました。

懇親会も含め熱意感じた6時間でしたので以下をご報告いたします。

東北支部28年度セミナー 参加報告書

報告者 No.1445 渡邊 佑司

H28年10月9日、仙台市において南国暮らしの会東北支部セミナーが開催され東北支部メンバーの一人として参加致しました。

当日13時からのスタートであったので時間前に会場に着き、少しは設営の手伝いをせねばと思いつつ12時少し前、仙台市民活動サポートセンターに到着。会場に着くと、そこには、氏家前支部長佐藤支部長はじめ、東北支部の方々さらに本部から大野理事長、宮原広報部会長はじめ何人かの方々が会場作りに汗をながされほぼ会場作りを終えセミナー開催を待つばかりとなっていました。

参加者約30名のもと開会。大野理事長佐藤支部長のご挨拶を受け本題の『ロングステイの魅力』セミナーが始まる。

1) チェンマイの話を中心としたタイの諸事情と題し

タイ観光庁マーケティングマネージャー

藤村喜章氏によるお話

私は五年前よりチェンマイにてシーズンステイを経験し南の会の皆様の仲間入りをさせていたしておりますが藤村氏の話は新鮮な情報が沢山あり興味がさらに湧いた。

又、タイ観光庁の熱心な説明に更なる親近感を持つ事ができた。

2) 東南アジア諸国のロングステイ事情 のテーマではロングステイ財団 事業部長常岡武氏のお話

この地域は気候、日常生活、治安、等々全ての面で楽しく有意義な年金長期滞在生活ができることの詳しい説明を受け南の会の目的である〈会員相互の交流と親睦を図ること〉の実現が比較的安全確実な老後生活を過ごすための一方法である事を再認識させて頂いた。



ロングステイ財団の常岡様

セミナーは関心と納得のうちに終了 【有意義だった 大懇親会】

氏家さん、佐藤さん、舟田さんはじめ、東北支部の面々は接待役に専念。大野理事長は、にこやかにみなさんの話を聞き宮原さんの熱の入ったお話、南の会の素晴らしいところを語る。みなさんの食事を忘れての会話に感動しました。

特にオーストラリアゴールドコースト支部の磯崎興志さんのお話【アフターロングステイ】に関心を持った。これに関しては「南の会」会報にて紹介されていたが、深く理解ができた感があった。

終わりにあたり、今回のセミナーに参加し感じた事

- 1) 南の会本部東北支部あげての南の会会員増強活動広報活動により健老者であることの条件の大きな手段として、南の会会員との情報を更なる親睦の元に深め「ロングステイ」を経て「アフターロングステイ」との想い、願いを強く持つことができた有意義なセミナーでありました。
- 2) 改めて本部から来てくださった皆さん、東北支部役員の皆さんに感謝致します。ありがとうございました。

関東甲信越支部便り

支部長 No.1607 阿部 滋敏

◆5月サロン会

日時 5月29日(日) 13:45～16:50
場所 大崎南部労政会館 60名

テーマ

1. 「中東(オマーン、カタール、アラブ首長国連邦)を旅して」

会員番号 1763 小西隆司さん

白亜の巨大モスクに見るアラベスク文様の美しさや、建物全体の荘厳さに驚かれたことなど、イスラム文化について、お話頂きました。

2. 「旅先での危機管理」

ロングステイ財団理事 福永佳津子様

今回は、当会の要望にお応え頂き、海外で自分の身を守るために必要な心構えや、日本人として心得ておくべき知恵について、又「9・11から15年後の今年、NYの現場を訪れた時の思い」について、お話頂きました。

3. 「情報交換」

支部総会が有り開催時間遅れもあり、フリートークは中止し、

1. 会員番号 No.1591 の肥後さんよりご自身が予定している東地中海クルーズ、
2. 会員番号 No.1682 の守田さんよりクアラルンプールの近況、
3. 会員番号 No.1285 の桂さんより北海道“移住お試しツアー”

等々お話しいただきました。

懇親会(ロージにて52名)楽しく懇談いたしました。

◆6月サロン会

日時 6月26日(日) 13:30～16:40
場所 大崎南部労政会館

出席者: サロン会: 43名

懇親会: 39名

テーマ

1. 「バリ島在住の光と影」

会員番号 593 小林繁之さん

映像関係のお仕事をされていた時にバリ島の魅力を感じられ、退職後バリ島の大学に入られ、毎週猛勉強でインドネシア語をマスターされた。指導を受けた教授の人脈で友人の輪が広がりバリの日本人三浦襄の命日の参加も許され、バリ島で名士として活躍されている。

地元の人と同じ目線で接することがいかに大事かを伺った。

2. 「海外での駐在経験とツアーのアテンダント時の経験談」

ロングステイ財団 常岡武 事業部長

常岡さんはJTBに入られ、イギリス、シンガポール、中国、韓国、等で日本からのツアーの受け入れをされていた。一番ビックリしたのは、ツアー客が途中でいなくなり八方探したがわからず、諦めていたら帰国する日の時間に空港に現れた事で偽のガイドに連れまわされていたらしい。バンコク空港でチェックイン時に2名のお客様がすでに預け入れたスーツケースの中にパスポートを入れてしまっていて大騒ぎ、JALの職員に訳を話して飛行機に詰め込まれる前のコンテナの中に入り込み無事見つけ出した時は、猛暑の中冷や汗がほとばしり出たというお話や、ホテルのロビーで見知らぬ人に声をかけられ充分用心していたけれど2、3秒で自分のバッグを置き引きされたという貴重な体験談をお聞きしました。

3. 「情報交換」

- ①小林繁之さんにバリの事を訊く
- ②チェンマイのことを語り合う
- ③常岡事業部長さんにロングステイの諸々を訊く
- ④その他の国々の情報交換

の4つに分かれてディスカッションを行いました。

「懇親会」

場所「ロオジ」ゲートシティ大崎ウエストタ

ワー地下1F 楽しく懇談いたしました

◆7月サロン会

日時 7月24日(日) 13:30～16:50

場所 大崎南部労政会館

出席者：サロン会 56名、懇親会 48名

テーマ

1. 滞米18年の日常と非日常

会員番号 1789 菅原捷彦、美恵様ご夫妻

ご主人は留学時代を含めると22年間シアトルを中心に米国に在住されたとのこと。

奥様はお子様たちを連れてご夫婦一緒に1996年に渡米されました。家の広大な庭にアライグマ、4,120KMのドライブなど、さすがアメリカというスケールの大きなお話でした。ご主人は旅行業を中心に、奥様は日本語教師や日本人留学生の英語サポートをされたということで、地域社会に根付いた活動をされていたことがよくわかりました。また、シアトルには富士山の姉妹山となっている富士に似た山があることや、アリゾナにはロンドンから移築したロンドンブリッジがあることをご紹介いただきました。

2. 最近のハワイ

会員番号 1591 肥後信彦さん

最近のショッピングセンターの拡張に関する情報、金持ちが来るのでどうしても物価は高いこと、店は韓国や中国資本が増えたが、客は日本人観光客が多いといった内容でした。その中で、ハワイの水道水は全米トップの水質、通常は飛行機でしか行けないのでテロが起きにくいこと、ハワイの6月はオフシーズンであることなどが印象に残りました。

3. 情報交換会

- ①菅原ご夫妻とアメリカ滞在について
- ②肥後信彦会員とハワイの滞在について
- ③私の夏休み(海外編)
- ④私の夏休み(国内編)

の4つに分かれてディスカッションを行いました。

4. 懇親会

場 所：「ロオジ」ゲートシティ大崎
ウエストタワー地下1F
楽しく歓談いたしました。

◆9月サロン会

日 時：9月25日（日）13:30～16:40
場 所：大崎南部労政会館
出席者：サロン会55名、懇親会47名
テーマ

1. 「旅先でのエピソード」

会員番号1783 中山弘子さん

中山さんは、過去4回海外でフライトに関するアクシデントに遭われました。今回、その貴重な体験談の中から、フライトのキャンセルやトランジットでディレイが生じ、乗り継ぎが出来なかった場合の対処の仕方を紹介して頂きました。

アクシデントにあったら、機内放送をよく聞くこと。他人に任せず、レセプションで必ず確認する事。簡単な英語力は必要、主張をすることでホテルの部屋やフライトでアップグレードすることもある。そして、アクシデントをネガティブにとらえない事。自分の身は自分で守る。と実践的な事例を紹介して頂きました。

2. 「暮らしながら学ぶ、マルタ島とセブ島」

坂口弥生 講師

海外での語学学習について、マルタ島とセブ島で暮らしながら学ぶ相違点を紹介していただきました。

語学学習の面から見れば、両者の生活費は約20万円程度で、大差はない事。セブ島の学生は60%が日本人であること、又、教師はフィリッピン人。マルタ島の学生は、各国から集まってくる。教師は英国人。地理的立地条件から国民性が違い、マルタ島では学習中に議論伯仲となる事もある。セブ島では概ねカリキュラムにのっとり真面目に学習している事。

大きな違いは、セブ島ではアメリカンイングリッシュを話す事、マルタ島ではキングスイングリッシュを話す事。など具体的なお話を紹介して頂きました。

3. 情報交換会

- ①中山弘子さんと旅先でのアクシデントに関する対応策について
- ②坂口弥生講師とマルタ島とセブ島での学習について深堀
- ③これからの（今年）のLS先とアドバイスなどについて

4. 懇親会

場 所：ゲートシティ大崎地下1階
「ロオジ」にて楽しく歓談致しました。

◆10月サロン会

日 時 10月23日（日）13:30～16:40
場 所 東京都南部労政会館第5～6会議室
（ゲートシティ大崎ウエストタワー2F）
出席者：サロン会：44名、懇親会：33名
テーマ

1. 「日本の生活で驚いた事」

Katharina 講師（慶応の大学院生）

☆ドイツと日本の生活の違い

- ・生物はドイツでは食べない＝例 サシミ、貝の刺身はまだ動いていたのでビックリし手が震えたが今は好きです。
- ・ウォシュレットや水洗トイレの使用後の水で流したいが何処押せば良いのか分からないし大・小・と書いてあっても読めない・・・どうして良いか・・・？
- ・自動販売機は同じ場所に数えると10台以上並んでいる何故・・・？
- ・壁が薄いのでかなり離れて居る場所からでも外の話し声が隣で話して居るように聞こえてきます。又、ドイツではエアコンは付けて居ない、ヒータはあるが、日本は何処にでも取り付けて有る。
- ・料理は小分けせず鍋・フライパンのままテーブルに出します。

・電車のつり革・電車時刻の正確さ・ヨーグルトがお店に少ししか並んでいない。

・物価が日本は非常に高い。

・その他、お地蔵さんは石で出来て居るのに衣類を着せて居るとか、ビルの谷間の小さな神社・等、色々と体験された事を話されました。

※普段私達が当たり間に感じて居る事が外国人にとって便利のようで使い方が分からない為、不便さを与えているのかなと感じました。

※体験した写真を見ながら日本語で一生懸命お話し有難う御座いました。

3. 「東地中海クルージングに参加して」

会員番号 1763 小西隆司さん

・今回は、時期やコースが多少違いますが、3グループが東地中海のクルージングに参加して代表の小西会員に報告して頂きました。

・「てるみくらぶ」のごたごた話し、寄港地や小旅行どの寸評などガイドブックに書いてない情報を沢山の写真で報告して頂きました。

4. 新入会員の自己紹介

5. お知らせ

2月3日のクルージングのメンバー追加で枠が有るので希望者は、No:1591 肥後信彦さんまで連絡下さい。

6. 情報交換会

① Katharina 講師と北村裕志会員を中心にドイツの習慣や日本との違い等の情報等

②小西会員、大野会員を中心に東地中海3グループの情報

③榎野会員、寺田会員、チェンマイの情報

④今野会員、大野会員前回からスタートした今後のロングステイ予定やL/S先のアドバイス等「より楽しく・安全に・安く・楽に」情報共有。

7. 懇親会

場所：ゲートシティ大崎地下1階「ロオジ」にて楽しく歓談致しました。

◆パソコン教室 毎月会員番号60番の渡辺会員にご指導いただいています。

◆南国テニス同好会 毎月会員番号1068番の山科会員を中心に楽しんでいます。

東海支部便り

支部長 No.1544 森 幸太郎

1. 2016年7月 定例会

7月定例会は、2016年7月10日(日)13:30~17:00、ウィル愛知で13名が集まって開かれました。米国フィラデルフィアから夏休みを利用して来日中の17歳高校生エイティエン君が、フィラデルフィアでの生活の様子を話してくれました。彼のホルン演奏は室内での演奏は出来なかったため、隣の資料館庭での野外演奏になりました。高島さんからはクアラルンプールの写真発表。写真はハリラヤ(イスラム教の断食明けのお祭り)でマレーシアのナジブ首相と握手する直前の東海支部の高島さん。



2. 2016年7月 平日サロン会

2016年7月19日サロン会が「メルパルク名古屋」で9名が参加して開かれました。

北の国や、南の国に行っている人が多く、少人数でしたが、北海道、マレーシア、ゴルフ、楽天カードなど多岐にわたる話で盛り上がりました。



3. 2016年8月 定例会

8月定例会が、2016年8月7日（日）13:30～17:00、ウィル愛知で、参加人員:14名（うち1名ゲスト）で開かれました。「ウィル愛知フェスティバル2016」は11月26日（土）9:00～12:00 於第3会議室、「南国暮らしの会」の説明・勧誘など行う予定。浜松ミニサロン会：8月度は参加者7名。来年度からは年1回に変更などの連絡がありました。小林さんからヨーロッパ・ドライブ旅行と北海道旅行の報告。ヨーロッパ旅行は6月24日～7月5日、エアーは名古屋→ヘルシンキ→ミュンヘン帰りは逆。イタリア、スイス、ドイツ約3,000Kmのクルマ旅。また、北海道では7月末から5日間千歳空港でレンタカーを借り、登別、大沼公園、函館、小樽、美瑛を周遊。



神谷さんからは、5月26日～6月26日ハワイ島、オアフ島ロングステイの報告。
土井さんからは、KL、ペナン訪問報告。



KL→ペナンへのバス。トイレ付、軽食付きで安くて快適。

前月に続き、ゲストのエイティエン君を囲んで、臨時の英会話教室。フィラデルフィア、フロリダ、イエローストーンの紹介。フィラデルフィアはアメリカ憲法（Constitution）が作られた由緒ある都市であること、アメリカでの自身の生活ぶり、ハローウィンや感謝祭などアメリカの習慣や、将来の夢を紹介。



4. 第21回南国マスターズ盛大に開催される

第21回「南国暮らしの会・東海支部マスターズ」（通称「南の会マスターズ」）は、7月15日（金）岐阜可児の丘陵地・名古屋ヒルズGCにおいて、腕自慢14名を集めて熱戦を繰り広げました。当日はどんよりとした天気、女性も日焼けを気にしなくていい好日でした。熱戦は和気あいあいとした雰囲気、珍プレー好プレーの続出で、連続OB、バンカーからなかなか脱出できずに泣き出しそうな人、ロングパットが決まり思わずガッツポーズ～ミドルHで見事チップインバーデイがでてグリーンを走り回った女性……等々、皆でホントに楽しいコンペを満喫しました。

5. 2016年8月 平日サロン会

8月22日(月)「メルパルク名古屋」にて平日サロン会が開かれました。地球一周旅行から帰ってきた榊原さん、北海道ロングステイから帰ってきた浅野さんから盛り沢山の報告がありました。地球一周旅行では、ドレスコード、英会話、ダンスパーティ、日本料理など楽しい話があり、次回地球一周に行く予定の方も熱心に質問していました。

また北海道では、6月は、思ったより寒くストーブをたく時もあったようです。浦河町、白老町、中標津町など町ごとの楽しい思い出話や、苫小牧から釧路方面に行くには国道237号を日高経由で行くより浦河町経由国道236号線で行く方が楽など参考になる話が多くありました。特に浦河町では、町の担当者が親切にあちこち連れて行って、感謝したそうです。

6. 2016年9月 定例会

9月11日13:30~16:30、「ウィル愛知」で12名が出席して9月定例会が開かれました。加藤さんからは、「あの時あの人を訪ねて」日本海を北上しながら北海道へ。各地の原発、地酒、温泉、田んぼアートなど味わい深い話がありました。

さらに北海道では、「秩父別」に滞在して菜園を楽しんでいる東海支部・前田さんと再会。おいに飲んで歌って、楽しい時間を過ごしたようです。



写真は「荒海や佐渡に横たふ天の川」を説明する加藤さん。

榊原さんからは、ピースボート世界一周25か国旅行の詳細報告。日程表や両替一覧表も交えてお役立ち情報の報告があり、おいに参考になりました。小林さんからは、ロシア4泊6日ツアーで、エミルタージュ美術館など美術と歴史の紹介がありました。岩田さんからは、北海道4日間、格安航空券とレンタカーの旅の報告がありました。

7. 2016年9月 平日サロン会

9月20日(火)メルパルクにて平日サロン会が開かれました。台風16号が三重県に再上陸するさなかでしたが10名が集まり、樺太の話、ゴルフの話、健康の話、「ライン」の使い方など幅広く歓談しました。

ちょうど支部・最長老の山田さんの87歳の誕生日で、ハッピーバースデーの歌を歌ってお祝いしました。山田さんはとてもお元気で、最近もアメリカ・グランドサークル4,000Kmのドライブにも行かれ、とても87歳には思えません。

大下さんからは横浜から樺太に行った10日間の報告がありました。名古屋から新幹線で横浜へ。ダイヤモンドプリンセス号で横浜港→釧路2日間、北方4島を大回りして樺太のコルサコフから小樽～函館、青森・十和田湖奥入瀬から横浜港まで10日間。釧路湿原国立公園、海から見た知床連山、小樽運河など楽しい報告がありました。



ダイヤモンドプリンセス号

8. 2016年10月 定例会

2016年10月9日(日)、ウィル愛知で22名(会員17名、オブザーバー5名)が参加して定例会が開かれました。榊原さんからは写真を交えて、ピースボート地球一周報告がありました。4月13日～7月27日までの105日。24か国訪問。ゲスト人員1,000名。スエズ運河、パナマ運河、アイスランドの白夜、ベネズエラのホームステイなど興味深かった。船内企画では社交ダンスが一番人気。



森さんからは、北海道旅行。今回は知床、摩周湖など周遊。

梶野さんから「アメリカ4週間の旅」報告。ラスベガス、ニューヨーク、メイン州に滞在。ニューヨークでの町中におけるアート(芸術的な壁など)、ニューヨークの爆破現場、ブルックリン、噂のトランプタワー、メイン州でのレークムーン、ホームステイ先のファミリーや珍しいパー6のゴルフ場などを紹介。以上

関西支部便り

支部長 No.173 平山 三雄

関西支部の主な活動をご紹介します。

☆8月ビアパーティー報告

東日本は台風襲来のこの日、関西も一日雨模様です。

毎年恒例の8月サロン会、屋上ビヤガーデンは閉鎖され、急遽一階下の中華レストランに変更です。

会費は少し高くなりましたが、美味しい豪華な中華料理が続々と、6月例会以来の関西支部会員28名は、楽しく過ごした夏季のロングステイや旅行の話を中心に大いに盛り上がりました。



☆10月例会報告

日時:10月8日(日)13:30～17:00

場所:大阪市立生涯教育センター

参加者:55名

①例会

- ・「世界一周バックパッカーの旅」～岡本雅明さん
- ・「Google my mapによるチェンマイ情報」～安楽秀典さん
- ・「日本語ボランティアのすすめ」～長田隆秀さん
- ・「クロアチア・スロベニア等の国情」～日本クロアチア



交流協会 山崎エレナさん

②懇親会

そして、それからはいつものように懇親会場へ、中華料理 遥華は、これ以上は入れないぐらいの満席となり、おおいに盛り上がりました。19時過ぎまでワイワイ、ガヤガヤいっつもながら、一番盛り上がった一時でした。



☆パソコン教室

日 時：11月10日13:30～17:00

場 所：大阪市立生涯教育センター
メディア教室

参加者：10名

- ①「格安のプロジェクター」の紹介と「Google 各種 app」の活用について。
- ②特にスマホの連絡先とPCとの連携がGoogle プリで簡単にできることや、この連絡先がGmailにも連携し非常に使い勝手が良いことが分かりました。

コメント

会員が減っていると危惧しておりましたが、今年に入り10名程度関西支部に入会頂きました。各種例会も新鮮な雰囲気活気に満ちております。役員一同、新たな催しに頭を痛めております。

九州支部便り

支部長 No.651 穴見 保彦

○九州支部の活動。

今年4月の熊本、大分地震から、早半年が過ぎました。改めてお見舞い申し上げます。

今秋、中断していた、九州支部恒例の秋の「栗拾い」が元会員の守田さんの厚意により始まりました。

10月3日、10月4日に九州支部全員にメールで呼びかけ14名が集まり軍手、帽子、厚手の手袋、長靴と農作業の格好に身を包み??広い栗林の中で収穫を行いました。収

穫作業の後、秋の青空の下、持参した弁当、ビールで食事会を開き、日頃のストレスからリフレッシュできました。



その後、場所を佐俣の湯温泉センターに移動、ログハウスを貸し切り、サロン会を行いました。

体験発表

- ① No.943 阿部 健治さん
「マイカー（キャンピングカー）による日本一周」
- ② No.581 朝永さん
「ツール・ド・モンブラン」の発表があり貸し切りログハウスの大広間で夜遅くまで盛り上がりました。

翌朝、雨天の為、予定していたグランドゴルフは中止となり散会しました。

11月6日（日）

- 北九州情報交換会
北九州市小倉北区
北九州生涯学習センターで18名参加で行いました。

体験発表

- *豊富な経験と情報をお持ちの
No.3 池田 徳三郎さん
「台湾ステイについて」
- *「フィリピン レイテ島及びその周辺の島」
No.652 深松 幸康さん
- *「ミャンマー、ベトナム、フィリピンの最近の情報」
No.1090 岡本 吉晴さん

* 「ツール・ド・モンブラン」

No.581 朝永 清寿さん

懇親会

小倉北区魚町1丁目

個室居酒屋「月の都」に場所を移し、お酒も手伝いみんな笑顔で元気!!それぞれ各自、持ち合わせ海外情報の交換会場になりました。



ペナン支部便り

支部長 No.1630 菅野 純

新年明けましておめでとう御座います。今年も皆様にとって、素晴らしい年となり、御元気に過ぎられる事を祈念しております。

米国トランプ新大統領誕生で、世界情勢は変わって行くのでしょうか？

さて、昨年の「夏・秋季号」に、投稿以降のペナンでの状況を御案内させていただきます。

(活動結果報告)

7月16日 第二回 支部役員会 (今後の活動計画等打ち合わせ)

7月21日 第二回 サロン会 (於 金門火鍋小館にてスチームボートの会食)

9月10日 第三回 支部役員会 (今後の活動計画、見直し等打ち合わせ)

9月20日 第三回 サロン会 (於 Chinese Recreation Clubにて中華料理の会食)

(ゲスト、来ぺの方々)

・7月21日開催のサロン会に、支部会員で現在日本に在住の田端氏、又、入会ご検討中の大山御夫妻がゲスト参加

・8月中旬日本在住会員でマレーシア長期ビザ取得の藤原ご家族 (お子様3名含め) が、「元気なアジア」視察の為、来ぺされ、観光、支部員との会食等をされ、御元気に帰国されました。



(2016年11月時点での、今後の活動予定)

12月3日 第四回 支部役員会

12月15日 第四回 サロン会



(ペナン近況)

ペナンでは、相変わらずバブル期の真っ最中の如く、コンドミニアムの建設ラッシュで、次々と大型物件が造られています。どうも、空き部屋が多くなって来ている感じています。外国系?のオーナーを含めまだまだ価格上昇を期待してる方が多いのかも知れませんが—— (全く個人の私見ですが)

—— 確かに、一昨年、消費税が導入され、飲食店、食材等は以前と比べ上昇はしてはいるものの (日本と同様)、住宅関連は、そろそろバブルが弾けるのではないかと感じています。私自身、昨年5月に2年間住んでいたコンドミニアムを16階から20階へと引越しましたが (一般的には上昇階の方が賃料がupすると思えますが)、7,8%程、安く

借りられました。

今の室状況から想像すると、安くしてでも借り手を探そうと言う傾向が続くのでは？と、思っています。(以前の号でも御案内しましたが)ペナンでの住宅状況は(築年数、立地により差は有りますが)、100㎡、3LDKでRm2,000(管理費、駐車車場費込み)前後だと思いますが、今後、更に、下がって行く？のではと思っています。

日本でも食材等他上昇してる中で、ペナンでの生活は、より、し易くなると思われまので、是非、一度、ロングステイ候補として下見に来て頂ければと思います。支部会員一同で歓迎致したく考えて、お待ちしております。

クアラルンプール支部便り

支部長 No.1682 守田 章

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もKL支部活動にご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

昨年8月には第3回定期総会が開催され、以下の通りに役員が承認されました。

支部長 守田 章 (No.1682)

副支部長 二瓶 ケイ子 (No.1188)

会 計 二瓶 ケイ子

昨年後半は会員の出入りが多く、新入4名、帰国2名があり、2016年10月末時点の会員数は11名(家族を含む)となっています。

定期総会後は日本人会館近くの「小小飯店」において新入会員を加えてサロン会を、また9月には久保田さんご夫妻の帰国壮行会をTaman Desa近くの「Nihonkai Japanese Restaurant」で開催しました。小小飯店はマレー流中華レストランで料金もリーズナブル、味もまずまずで、人里離れ目立たない場所にも関わらず人気があります。日本人会館に近いこともあってお勧めの店です。会は新

入の田中夫妻を迎え新鮮な話題で溢れていました。



帰国されるNo.1657久保田さんには在馬中は訪問会員対応を中心とした活躍をして頂きました。帰国後も関東支部での活動を望んでいることでしたので、日本での再会を期待しています。

9月には「第1回KLマスターズ」と銘打って支部発足以降初めてのゴルフコンペを開催しました。コースはKL南方のNilaiにある「Staffield C&R」で行いました。

このコースは広々としたフェアウエイ、よく整備されたグリーン、水はけが良く晴天雨天を問わずバギー乗り入れOKなので、KLから1時間と必ずしも地の利が良いとは言えないにも関わらず、多くのロングステイヤーがメンバーとなっている人気のコースです。



当日朝は生憎の曇り空、スタート時点では曇りが掛かる程度だったものが徐々に雲行きが怪しくなり遂には雨が降り出し、前半が終わるころには土砂降りとなってしまいました。年に何日もない悪天候に見舞われ、完走を諦めて残り6ホールを残して降雨中止となりました。誰が雨男・雨女か追及が始まりました

が、結局のところ、善男・善女ばかりのメンバーでは悪コンディションを経験したことがなく、他のパーティに運の悪い人がいるのではという結論に無事落ち着きました。コースを離れる時にはすっかり雨が上がり、「まあ、こんなものだね…」と恨み節も。

表彰式・反省会は帰途にある中華レストランで。変則ダブルペリアで集計の結果、松下ささんが第1回マスターズチャンピオンに輝きました。会食後各自賞品を手に、快晴の青空の下を帰途につきました。

チェンマイ支部便り

支部長 No.239 伊藤 寛

謹賀新年

タイ王国プミポン国王が崩御され、チェンマイ在住者として心より哀悼の意を表したいと思います。

全タイ国民に愛され慕われた国王の崩御は、タイ全土の大きな悲しみを落としています。今年一年は喪に服すとの事、観光立国で表面上は平常に戻っていますが、大きなパレードや、大きな音楽は自粛されています。

洋品店では、黒の服の販売が中心で、購入できない人の為に安価で黒に染めてくれるところまで出ているようですので、この原稿が配布されるころも、継続されていると考えることが普通と思います。よく世情をとらえながらチェンマイ生活をお送りいただけるようお願いいたします。

先日、バンコクで日本人の団体が、ばか騒ぎをして、警察に通報され事情聴取を受けるという件も報告され、響感を買っています。

日常生活での注意点は、パーティーの自粛、レストランでの乾杯、大声での歓談、不敬罪に当たるような行動・発言に注意。パスポートのコピーの携帯は必須です。

チェンマイは気楽に鋭気を養いに来るところで、現状でも十分その環境は維持されてい

ますが、楽しいチェンマイライフを送り、楽しい思い出とともに帰国されるためにも、お世話になっているタイ王国とタイ国民にご配慮頂けるようお願いして、新しい年を迎えたご挨拶とご報告とさせていただきます。

●7月27日第10回チェンマイゴルフコンペを開催しました。

前回の2月のコンペでは乾季に珍しく大雨に見舞われてやむなく中止で1年ぶりのコンペ開催となりました。

雨季でもあり予備日まで取っていましたが、雨も降らず絶好のゴルフ日和でした。ただ結果は意気込んだせいか大叩き続出。

第10回チェンマイゴルフコンペ 結果

	イン	アウト	グロス	ハンデ	ネット
優勝 金井義雄	48	45	93	20.4	72.6
二位 森田公之	49	46	95	20.4	74.6
三位 鈴木道弘	45	50	95	19.2	75.8
女性優勝 坂本清子					
ベスグロ 金井義雄	93				



ダバオ支部便り

支部長 No.1261 藤本 晴久

新年あけましておめでとうございます。

昨年度はフィリピン大統領選挙の年で何かと騒がしい年でした。ダバオに住んでいる私

としては例年の大統領選挙はマニラ首都圏に関わる人たちの選挙のイメージが強かったんですが、一昨年に出馬表明した前ダバオ市長ドテルテ氏は当初3番人気の泡沫候補と言われていましたがあれよあれよというまにフィリピン国民の心をつかみ大統領になりました。氏は宗教、民族、共産ゲリラなどが入り乱れ荒れていたダバオ市を立て直し私達がこうして安心して暮らせるダバオにしました。以前イスラム武装集団の長老達との会談を偶然に遭遇する機会がありました。その会談を離れたところから拝見していると、真摯に長老達の話聞くドテルテ当時市長と真剣に話をする長老達の表情になみなみならぬ信頼関係があると思ったものです。市長就任当時は各部族の地域まで足を運び要望を聞き信頼関係を構築したと聞きます。こういった信頼関係が安定につながるんですね。普段の氏はパーティー出席時に写真撮影のお願いに気軽に応じて頂けるなど気さくな方です。私のアパートの裏の喫茶店に週末家族で夕食を楽しむ氏の姿をよく見かけ冗談を言って回り人を笑わせていました。まさにおらが市長、オヤジといったところでしょうか？氏の大統領出馬に地元ダバオでは早い段階から指示を表明し大きな看板が各地に貼られ、多くの車には支持のステッカーが貼られ、支持の集会在各地で行われ何十万の人たちが集まりました。当然当選した時の熱狂ぶりは相当なものでした。当選後はいち早く選挙中の公約実行にむけ行動を進めています。特に麻薬問題は安全

面において海外からの投資にとって大きな障害になりますので徹底的な撲滅運動が行われています。一部大企業に優遇されている税にもメスを入れると公言していますので大きな変化が見



車に貼られたドテルテ大統領支持のステッカー

込まれると思われます。

前回ご紹介しました様に日本人用のお墓を自腹で建てて頂いたような日本びいきの一面もあります。日本では暴言王と報道しているマスコミが目立ちますが地元民としては情に深く誠実で弱い者の味方というイメージが定着しています。地方都市での政策が国家単位で行うことができるか疑問を指摘するコメントもありますが戦後まもなくはGDPも日本をしのぎ東洋の真珠と呼ばれたマニラを含め昔の輝きを取り戻し更なる大きな発展に期待したいと思います。ドテルテ大統領の地元ダバオと南国暮らし会ダバオ支部ともども本年も何卒宜しくお願い申し上げます。



ドテルテ大統領との会談？
実はダンボールでできた等身大写真

マニラ支部便り

支部長 No.999 中山 恒夫

新年あけましておめでとうございます。

マニラ近郊は今が一番過ごしやすい季節を迎え、南国生活を満喫しております。

日本のTVにも数多く取り上げられ、暴言ともいえる発言で問題になっているフィリピン・ドゥテルテ新大統領ですが、国民の満足度は76%（SWS調査）で高い支持率を保っています。一例として我が家のヘルパーが通う公立大学の前期の授業料が半額になり、返

金されました。又日本人が問題にしていたカラオケ騒音が激減したとか、私たちの周りでも治安が少し改善されているように感じられ、一応の評価は出ているようです。

次に円安問題ですが、1年半前に比べて大幅に為替レートが改善されました。長引く円安で少し消極的になっていた日本人ロングステイヤーも落ち着きと、自信を取り戻したようです。

経済状態も引き続き好調で、フィリピンの人たちにも余裕が出てきており、より良い教育を求め、私立学校や大学に子供を通わせる親も、多く見受けられます。

私たちの周りにも、お洒落なレストランや、ショッピング・モールを備えた大規模開発されたエリアができました。気の合った友人たちと食事会、コーヒータイム等楽しむ日々を過ごしております。

会員の皆様もフィリピンの快適な南国生活をエンジョイしていただきたく、ご来比をお待ちしております。

ハワイ支部便り

支部長 No.1439 塩川 亨

2016年7月のハワイ観光客数は前年比2.1%増の83万5千人で、過去最高となった模様です。国籍別ではアメリカ人の55万3千人を除けば一番多いのが日本人で12万7千人と、次のカナダ人2万6千人を大きく引き離しています。そんな日本人に人気があるワイキキの高級ホテルベストスリーといえばシェラトン・ワイキキ、モアナサーフライダー、ロイヤルハワイアンといったところでしょう。さてこれら3つのホテルに共通していることがあります。実はこれらのホテルのオーナーはすべて京屋グループという耳慣れない日本の会社です。そして京屋グループとはロッキード事件で有名な、故・小佐野賢治氏が創業した国際興業の一事業部門です。氏

はハワイのホテル王と呼ばれていましたが、その会社がいまだに保有していたとは記憶にございませんでした。

日本の冬はハワイのトップシーズンです。早めにビジネスクラスのチケットを取り、モアナサーフライダーのオーシャンフロントのスイートルームを予約して、新しくなったインターナショナル・マーケットプレイスでも冷やかしてみませんか。私は出来ませんが。



部 会 伝 言 板

総 務 部 会

担当理事 No.996 歌田 晃一

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

◆第1回理事会 6月19日(日)実施

- ①平成28年度(第19期)事業計画の確認
- ②理事長、副理事長の理事会選任と役員業務分担の確認
- ③委員会構成の承認
- ④平成28年度理事、監事、相談役連絡名簿の確認
- ⑤平成28年度年間スケジュールの確認
- ⑥アフターロングステイ委員会の活動方針と今後の運営方針
- ⑦各部会からの提案、報告

◆第2回理事会 10月8日(土)実施

- ①中間期の予算収支状況と事業見直し
- ②都庁への届け出、法務局への申請9/21完了
- ③東北支部主催のロングステイセミナー開催の報告10/9実施
- ④ロングステイフェアの出展準備11/26実施
- ⑤入会会員情報の報告
- ⑥その他

◆次回以降の理事会開催予定

12/10(土)、3/18(土)、4/8(土)、5/13(土)

広 報 部 会

担当理事 No.1207 宮原 正宇

広報部会の本年度の活動状況につき、これまでの活動結果をご報告いたします。

1. 6月24日(金)

六本木のフィリッピン観光省、及び有楽町

のタイ観光庁を表敬訪問

(大野理事長と広報部会4名にて訪問)

2. 6月26日(日)

飯田橋の大和工業本社にて、ロングステイ財団主催の「ロングステイフェア」が開催され、「南国暮らしの会」もブース出展し、広報部会メンバー3名にて参加した。

3. 6月28日(火)

虎ノ門の一般財団ロングステイ財団及び、有楽町のマレーシア観光局を表敬訪問

(大野理事長と広報部会4名にて訪問)

4. 7月26日(火)

読売新聞の大阪本社、編集局経済部の岸本秀樹記者より、南の会の活動内容につき取材申込があり、広報部会宮原と寺田氏、及び一般会員の末英樹氏が取材に応じた結果、その記事が10月7日の読売新聞関西版「老い2016」という連載コラムに掲載された。

5. 8月8日(月)

ロングステイ財団主導による「第一回日本版CCRC二地域居住先進自治体市長サミット」が日比谷公園内のコンベンションホールにて開催され、大野理事長と広報部会から宮原と寺田氏が出席した。

6. 9月14日(水)

ロングステイ財団主催の「台湾ロングステイセミナー」が大手町の三井生命ホールにて開催され、広報部会より宮原、寺田氏、槇野氏の3名とパネルディスカッションのパネラーとして、支部推進部長の今野力男氏が参加した。

7. 10月9日(日)

「南国暮らしの会」東北支部主催による「第一回東北地区ロングステイの集い」セミナーが「仙台市民活動サポートセンター」にて開催され、講師としてタイ国政府観光庁の

藤村善章氏とロングステイ財団の常岡武氏、及び「南の会」の元理事の磯崎興司医師を招請し、大野理事長と広報部会3名が本部より応援参加、東北支部より佐藤支部長以下9名、一般参加6名の総勢20名にて熱心な討議がおこなわれ、小規模ながら大変実のあるセミナーとなり、今後の東北支部の更なる躍進が期待される一大行事であった。

8. 11月26日(土)

例年参加している東京有明における、ロングステイ財団主催の「全国ロングステイフェア」に今年も出店参加の予定にて、理事長他三役と広報部会4名、関東支部2名、及び、当日別会場におけるタイ観光庁主催のセミナーにパネラーとして、元理事の島林健二氏が参加、合計10名にて「南国暮らしの会」を大いに宣伝、紹介する予定である。

以上が広報部会の6月から11月にかけての活動結果、及び活動予定となりますが、今後とも「南国暮らしの会」の活動を対外的に大いにPRすると共に、必要な情報の収集にも努め、合わせて会員の新規入会促進策にも鋭意取り組んでまいります。以上

ネット部会

担当理事 No.1578 山本 雅巳

明けましておめでとうございます。

ネット部会では、会員の皆様相互の情報交換ツールとして『南国暮らしの会掲示板(BBS)』の運営と会員諸氏のメールアドレスの管理・運営を行っております。

一昨年10月に『南国暮らしの会掲示板(BBS)』、(以下掲示板と云います。)及び『南国暮らしの会ホームページ』の会員専用の入口のパスワードを変更しました。この変更から1年4か月近くが経過し、その間、新たな入会者や退会された方もあり、会員外部への情報の流失も懸念される恐れがあると考えられるため本年2月1日をもってパスワードを変更いたします。新しいパ

スワードは本会報に同封しお手元にお届けいたしました。

今後、新パスワードをご失念、承知されていない会員の方はメール委員会(mail.iinkai@gmail.com)宛て、お名前、会員番号をお書きいただいでご請求ください。

現在掲示板には、本体(掲示板を開くと表示される投稿)とそれ以外に20のスレッド(限定された内容をまとめている)を持っています。本体には会員皆様にお知らせしたい事柄を主にお使いください。20のスレッドは、それぞれの題名に合わせた投稿をお待ちしています。

其々のスレッドは、ご投稿いただくと黄色の文字でNEUという表示が出ます。この表示は、投稿後3日間点灯しています。黄色のNEUの文字のあるスレッドは新鮮な投稿があるということです。是非皆さん見に来てください。そしてご自身の情報を会員皆様にお知らせする為に、どしどしご投稿お願いします。

今後とも会員皆様の情報交換の場として掲示板をお使いいただきたく、ご投稿をお待ちしております。

また、南の会ホームページは、日に150~200アクセスがあり、外部向けの要素が強いかと思いますが、会員が利用しても便利な「会報の電子版」「規約等」や「マスコミに掲載された記事」も見ることができますので是非ご覧ください。

会 員 部 会

担当理事 No.1388 寺田 光江

会員の皆様の連絡網の一環として年1回の会員名簿作成を済ませました。作成に辺り会員部会一同、細心の注意を払って作成しておりますが今回ミスが2つありました。

訂正・お詫び・ご報告

◎役職名 記載忘れ

会員番号 670 今野 力男さん

役職名 理事

◎メールアドレスの間違え

会員番号 1572 武富 千津子さん
正しいメールアドレスをお知りになりたい方は、
会員部会までご連絡ください。

会員部会 E-mail : kaiin.bukai@gmail.com

会員名簿のご自分の部分をご覧いただきまして
間違えなどありましたら会員部会までご連絡お願

いいたします。

尚、会員名簿は 2016 年 8 月 8 日締め切り、
名簿を作成いたしておりますので 8 月 9 日以降ご
入会いただきました方々の記載はありません。

今後ともよろしくお願ひ致します。

会員部会一同

友好団体紹介コーナー

★一般財団法人ロングステイ財団

<http://www.longstay.or.jp>

★チェンマイロングステイライフの会 (CLL クラブ)

<http://cll.thaijp.net/>

★ワールドステイクラブ (WSC)

<http://homepage3.nifty.com/worldstayclub/>

★ THE JAPAN CLUB OF KUALA LUMPUR KL

(クアラルンプール) 日本人会

<http://www.jckl.org.my/>

★北ルソン日本人会 (JANL)

<http://janl.exblog.jp>

南国暮らしの会 支部一覧

2016 年 12 月現在

支部名	会員番号	支部長名	e-mail アドレス
北海道支部	1285	桂 裕章	hiro-katz1743@nifty.com
東北支部	1027	佐藤 周司	shujisato1947@yahoo.co.jp
関東甲信越支部	1607	阿部 滋敏	abe-shigetoshi@d05.itscom.net
東海支部	1544	森 幸太郎	moro-12-13-18@herb.ocn.ne.jp
関西支部	173	平山 三雄	hira629@yahoo.co.jp
九州支部	651	穴見 保彦	yasu325anami651@yahoo.co.jp
チェンマイ支部	239	伊藤 寛	kan_itoh_9@hotmail.com
バンコク支部	—		
ペナン支部	1630	菅野 純	Jk700115@icloud.com
クアラルンプール支部	1682	守田 章	akirmori@hotmail.co.jp
マニラ支部	999	中山 恒夫	kazuyo.nkym@gmail.com
セブ支部	1410	加藤 正也	m@kato.sh
バギオ・パンガシナン支部	227	斎木 一	saikihajime@hotmail.com
ダバオ支部	1261	藤本 晴久	katorudawann@yahoo.co.jp
ハワイ支部	1439	塩川 享	t.007.shiokawa@jcom.home.ne.jp
ゴールドコースト支部	※ 586	磯崎 興志	iso4549@sirius.ocn.ne.jp

※は支部長代行



編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年は英国のEU離脱や米国大統領選挙など世論調査や専門家の予測がことごとくはずれ、想定外の事態が多く発生し将来が見通せない時代と実感しました。またこのロングステイにつきましてもマスコミのセンセショナルな記事に躍らせることなく会員皆様の情報共有（シェア）の重要性を再認識した次第です。

今回はじめて会報委員となり改めて会報を読み直したホームページ（HP）のBBS等も閲覧し、多くの初対面の会員の方々にロングステイ体験記や南国写真サロンの投稿をお願いしました所快くお引き受け頂き、「新年号」を発行することが出来ましたことを御礼申し上げます。

「新年号」では皆様の関心が高い東南アジアのロングステイ体験を中心に編集しま

したが、最近の会員の関心が高まっている国内のロングステイ体験記も入れ更にロングステイ中のパソコンの上手な使い方やノウハウ等の記事も入れ編集しました。

今後も益々皆様のお役に立つように広く会員の方々の声を掲載すべく今回会報誌への連絡窓口（メールアドレス）を新設し、更なる広報誌の充実（情報シェア）に向け皆様からのご意見やご質問をお待ちしておりますので、宜しくご協力の程お願い申し上げます。

会報誌連絡アドレス：

kaihou.henshu.iinnkai@gmail.com

編集委員 No.1309 青木 一義
No.1575 吉田 博

平成 29 年度会費納入のご案内

平成 29 年度の継続会費納入をご案内します。

継続年会費：5,000 円 納入期限：平成 29 年 3 月 31 日(金)

- 本会の 29 年度は平成 29 年 4 月 1 日より 1 年間です。会則により、会費は年度会費制で途中入会者に対する月割り計算はいたしていません。28 年度に新規加入の方も、加入時期にかかわらず 29 年度会費を全額納入してください。
- 同封の郵便振替用紙を使ってお振り込み下さい。振込料金は各自ご負担願います。
郵便振替口座番号：0 - 0170 - 7 - 24682
加入者名：「南の会」
(お願い) 郵便振替の払込取扱票の「ご依頼人」欄に郵便番号、住所、氏名、電話番号を**楷書**で明確にご記入下さい。また、**通信欄に会員番号**も忘れずに記入して下さい。
- 海外居住者等で郵便振替の利用が困難な方は**ゆうちょ銀行**口座への振込をお願いします。
ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900
店番：019 店名：〇一九店(ゼロイチキュー店)
預金種目：当座(「普通」ではありませんのでご注意願います。)
口座番号：0024682
受取人名(カナ氏名)：ミナミノカイ
(振込支店名の検索は、画面「あいうえお」一覧の「ゼ」または「セ」から〇一九店を選んでください。振込画面は銀行により異なることがあります。)
(お願い) 銀行振込に際しては、振込人氏名の先頭に**会員番号を追加記入**してください。
- 会費納入と会員資格、総会表決権の取扱について
 - ・上記の納入期限内に継続会費を納入された方は、29 年度会員として総会表決権を有します。
 - ・期日までに会費未納入の方へは、一度納入を督促致します。さらに 5 月 15 日までに納入されない場合は退会として扱い、会員名簿から削除致しますのでご注意願います(細則 9 条(5)項)。また、会報も送付しません。
 - ・9 月 30 日までに会費を納入しますと会員資格が復活します(入会金は不要)。10 月 1 日以降の納入は新規入会の扱いとなりますので、入会金と会費を納めていただきます。
 - ・新規会員で会費を 29 年度として納入された方は、4 月 1 日からの会員資格となりますので、29 年度総会での表決権はありません。
- やむを得ず会費納入が遅れる方へ
海外滞在中などで期日までに振込が困難な方は、下記アドレスへ件名を「会費納入遅延」としてご連絡ください。 keiri.iinkai@gmail.com
納入遅延の連絡を条件に特例として会報春季号をお送りします。連絡が無い場合は会員名簿からの削除を行います。
ただし、総会議決権については規定通り失効といたします。
- 例年二重に振り込まれる方がいらっしゃいますので振込記録を残されることをお勧めします。なお二重に振り込んでも定款の定めにより返金できませんので、前納会費として翌々年度に充当させていただきます。よろしくご了承下さい。

「南国暮らしの会」から自己責任の徹底！

南国暮らしの会は南国暮らしの情報提供・交換・親睦の場です。これらに基づいた集会・行事・旅行、或いは不動産の購入などについて、個々人の自己責任であることを肝に銘じて判断し行動してください。すべての判断・決定は自己責任です！

(参照：「南国暮らしの会」細則第10条【自己責任の原則】)

【連絡先一覧】

- | | |
|------------------------|--------------------------------|
| (1) 会報連絡窓口 | kaihou.henshu.iinkai@gmail.com |
| (2) メールアドレスの変更 | mail.iinkai@gmail.com |
| (3) 会員関係（住所変更など） | kaiin.bukai@gmail.com |
| (4) 経理関係（会費、名刺ロゴマークなど） | keiri.iinkai@gmail.com |
| (5) その他一般 | home@minaminokai.com |
- (メールには要件の他に会員番号、氏名、ご自分のメールアドレスを明記して下さい。)

【編集委員】

No.1309	青木 一義	No.1208	澁谷 幸一
No.1207	宮原 正宇	No.1575	吉田 博
No.1640	川野 俊次		

記事の無断転載・複製を禁じます。

発行者 特定非営利活動法人（NPO法人）

「南国暮らしの会」

©minaminokai

理事長 大野 悦子

<http://www.minaminokai.com/>

E-mail: info@minaminokai.com



投稿写真コーナー



KL支部懇親会



東北支部セミナー後の懇親会



ペナン支部サロン会



九州支部サロン会



関西支部例会



東海支部ゴルフコンペ